

令和4年度 市民意識アンケート

吹田市の公園とみどりに関するアンケート調査

令和4年（2022年）11月

吹田市 花とみどりの情報センター

吹田市 土木部 公園みどり室

目次

市民アンケート調査の概要	p2
問 1：公園の利用頻度	p3
問 2：問 1 で公園を「利用をしない」と回答した人が公園を利用しない理由	p4
問 3：コロナ禍の「公園のつかい方」で変化した点	p5
問 4：普段利用する公園の大きさ	p6
問 5：普段利用する公園を最も利用する理由	p7
問 6：公園での過ごし方	p8
問 7：公園の維持管理の評価	p9
問 8：公園での危険行為、迷惑行為の有無	p10
問 9：公園のルール必要性	p11
問 10：市内のみどりの量について	p12
問 11：自宅周辺にあればよいと思う公園	p13,14
問 12：公園にあればよいと思うもの	p15
問 13：緑化のための助成制度の認知度	p16
問 14：みどりのボランティア制度の認知度	p17
問 15：みどりのボランティア活動への参加意欲について	p18
問 16：参加してみたいボランティア活動について	p19
問 17：花とみどりの情報センターの認知度について	p20
問 18：花とみどりの情報センターの広報活動の認知度について	p21
問 19：花とみどりの情報センターの取り組みの認知度について	p22
問 20：公園や緑地などで、あれば参加したいみどりに関するイベント	p23
問 21：公園の樹木をこれからどう管理していくのがよいかについて	p24,25
問 22：街路樹に求める「役割」として重要に思うもの	p26
問 23：街路樹の剪定についてどう思うか	p27,28
問 24：安全に管理できない街路樹をこれからどうしていくのがよいか	p29,30
問 25：公園の樹木や街路樹の育て方、みどりのまちづくりについてのご意見	p31
問 26：植物を育てることへの意識	p32
問 27：植物を育てる目的	p33
問 28：どのような植物を育てているか	p34
問 29：市内の公園やみどりについてのご意見	p35
参考資料	p36~

(1) 市民アンケート調査の概要

1) 目的

市民の「公園」や「花とみどりの情報センター」の利用実態、および街路樹等、みどりのまちづくりへの課題を把握し、公園管理の質の向上やみどり豊かな環境づくりに関する施策検討の資料として活用することを目的に、アンケート調査を実施。今回のアンケートは郵送でお知らせし、WEB または返送にてご回答頂いた。

2) 対象者・回収率

発送数：2,000 通（18 歳以上 85 歳未満無作為抽出）、到達数：1991 通

回収：752 件（回収率 37.6%）

- ・郵送 552 件
- ・WEB（グーグルフォーム）200 件

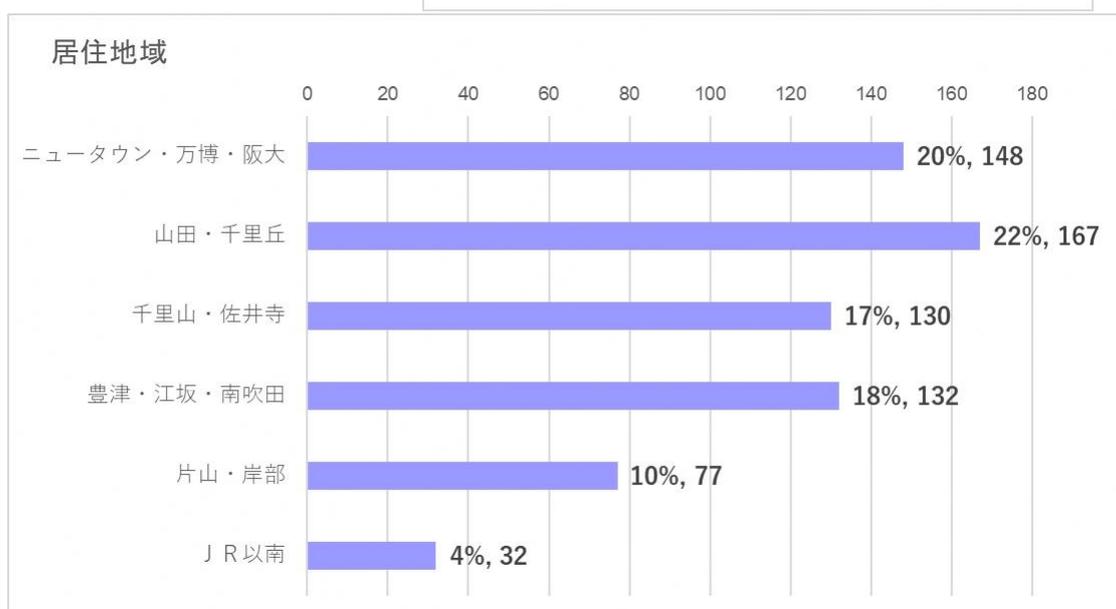
3) 調査時期

令和 4 年 6 月

(2) 主な集計結果

1) 個人の属性

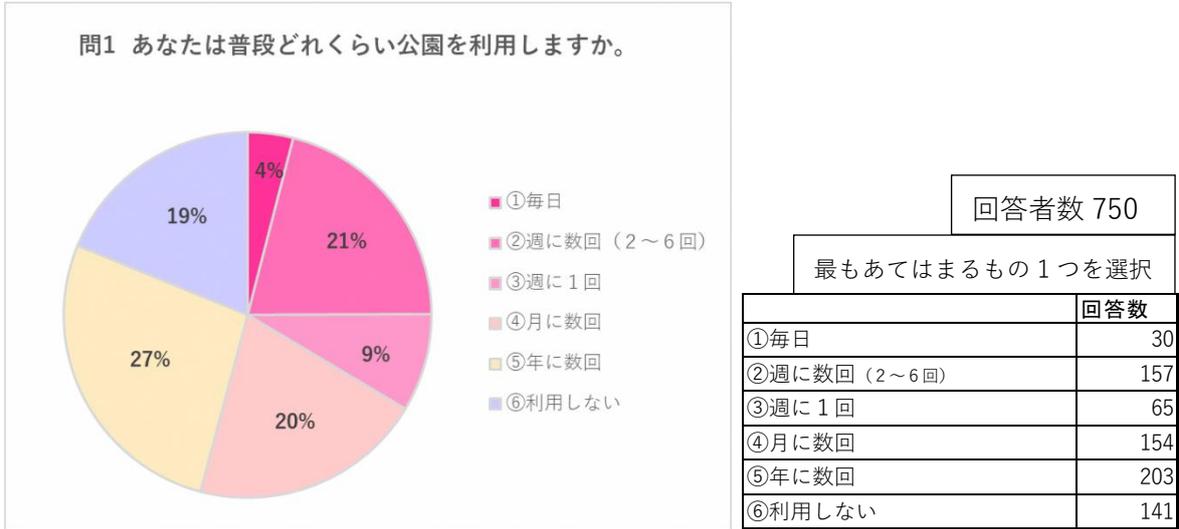
- ・年代
- ・居住地域



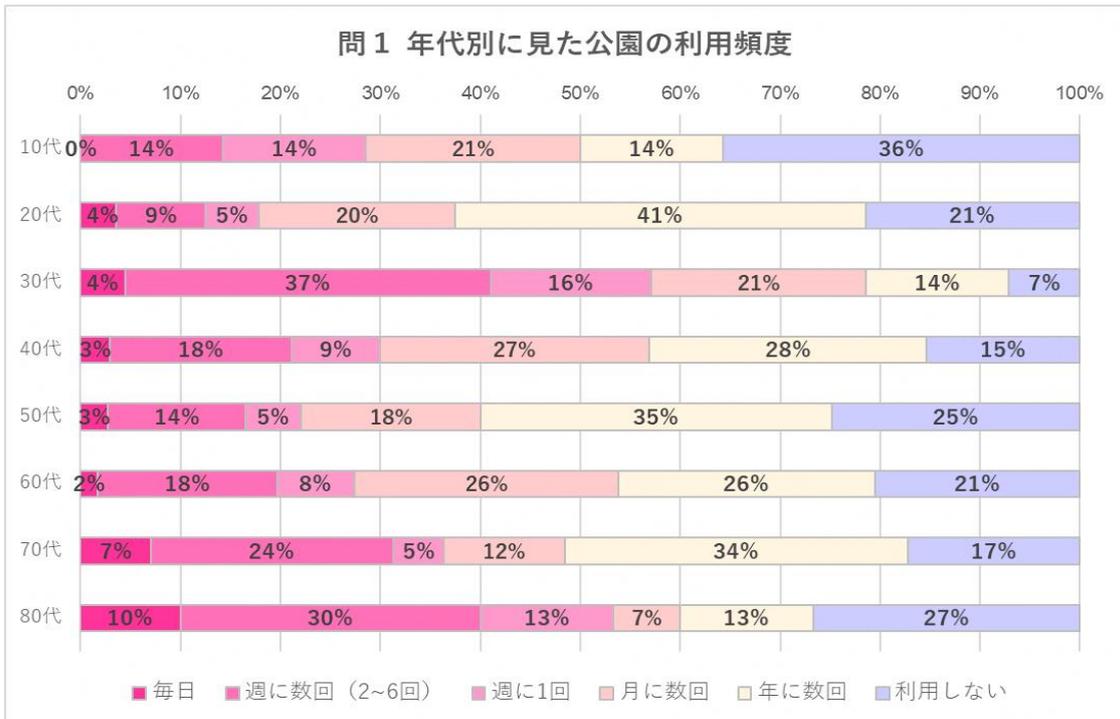
問1：公園の利用頻度

約8割の人が年に数回以上、公園を利用

全体的には「年に数回」公園を利用する人の割合が一番多く、約8割の人が毎日～年に数回公園を利用している。「利用しない」と回答した人の割合は2017年の調査時の約3割より1割減り、公園を利用する人の割合が高くなっている。



10代(18歳・19歳)では公園を「利用しない」割合が最も多いが、他の年代では7割以上の方が「年に数回」以上公園を利用している。一般的に子育て中の人が多い30代では「週に数回利用」が最も多く、約9割の方が公園を利用している。仕事が落ち着いてくる70代・80代の方も「週に数回利用」の割合が高くなっている。



問2：問1で公園を「利用をしない」と回答した人が公園を利用しない理由

公園に行く目的がない

子どもが大きくなった等の理由で、公園に行く「目的がない」と答えた人が最も多く、他には「魅力的に感じる設備や理想とする公園像」を求めるとご意見、仕事等で公園を利用する「時間がない」、「近くに公園がない」という理由が多かった。

今回のアンケートでは「万博記念公園を除く」という形で聞いているため、万博記念公園のみ利用という回答も挙げられた。

【公園を利用しない理由 主なご意見 p36 参考資料あり】

回答者数 131	自由記入
	回答数
1 目的がない	57
2 魅力がない	18
3 時間がない	16
4 近くにない	13
5 万博記念公園のみ利用	5
6 その他	22

【どのような点が改善されればより公園を利用したいか。】

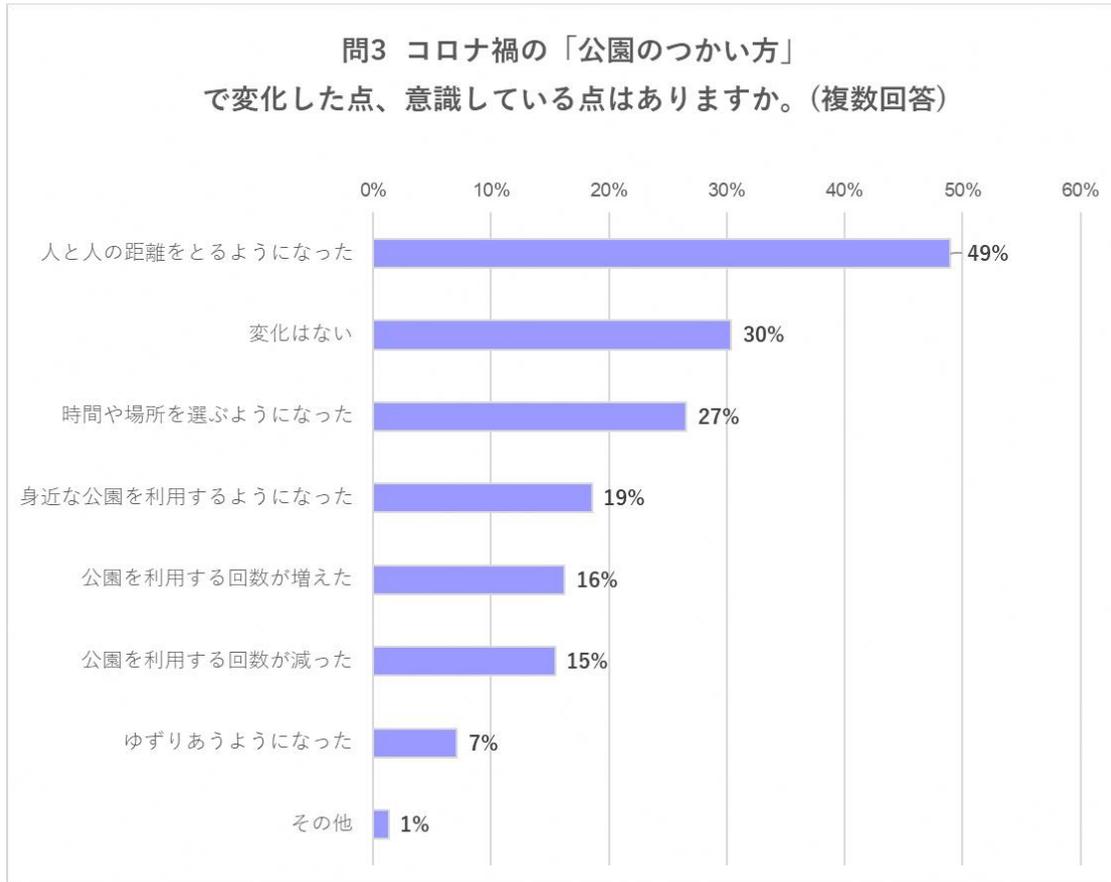
オープンカフェなどがあればいくかも。
近くにできたら利用したい。
定期的に新しい遊具に変えると良い。
ベンチが綺麗ならば行ってみたいが座りたくないベンチしかない。
大規模イベントの開催。
花とか観葉植物があれば別だが。
ジョギングコースがあれば利用します。
大人がゆっくり散歩でき途中にベンチもあり、徒歩1Km圏内にあれば利用したい。
一人でも楽しめる公園が近くにあれば考えたい。
日陰で話の出来るところ、椅子あれば。
木や草の手入れがされて整備されていれば。
ウォーキングコースがあったり池の辺りにカフェがあれば。
広い芝生のスペースがあったり明るいイメージの公園だったら何度でも利用したいと思います。
大人がいけるところと変わればよい。大人が利用すると不審に思われる。
人の多さの調整（入場制限）涼める場所があれば。
落ち着けるベンチや花がたくさん咲いている公園がいいです。
どこに公園があるのか広報誌で案内してほしい。
土日曜日にキッチンカーとかが来ていたら行くかもしれない。
千里南公園で6時半からラジオ体操など多くの方が参加されているのを知り近くにそんな公園があればなあと思えました。
ストレッチ器具、日影の場所があれば。
みどり（草木）が多い公園が良い。
売店があり、コーヒー、軽食がゆっくりとれるスペースがあれば利用したい。
大人が利用出来る背の高い鉄棒があれば利用したいと思います。
夏祭りの開催やイベントがあれば休みの日に参加したい。
四季の草花がきれいだと、休日のんびりベンチに座って買い物の途中に立ち寄ると思う。
リフレッシュできる空間があると認識することが出来れば利用したいと考えるかもしれない。
もっと広い公園にしてほしい。まわりに気を遣ってほしい、楽しく遊べない。

問3：コロナ禍の「公園のつかい方」で変化した点

※以下、問3～問9までの設問は、問1で公園を「利用する」を選んだ人にご回答頂いた。

人と人の距離をとるようになった

コロナ禍の「公園のつかい方」で変化した点、意識している点として「人と人の距離をとるようになった」との回答が最も多かった。「変化はない」と答えている方も3割いらっしゃるが、「利用時間や場所を選ぶ」等、「新しい日常」を受け入れつつ公園を利用されている様子がうかがえる。



回答者数 603

複数回答

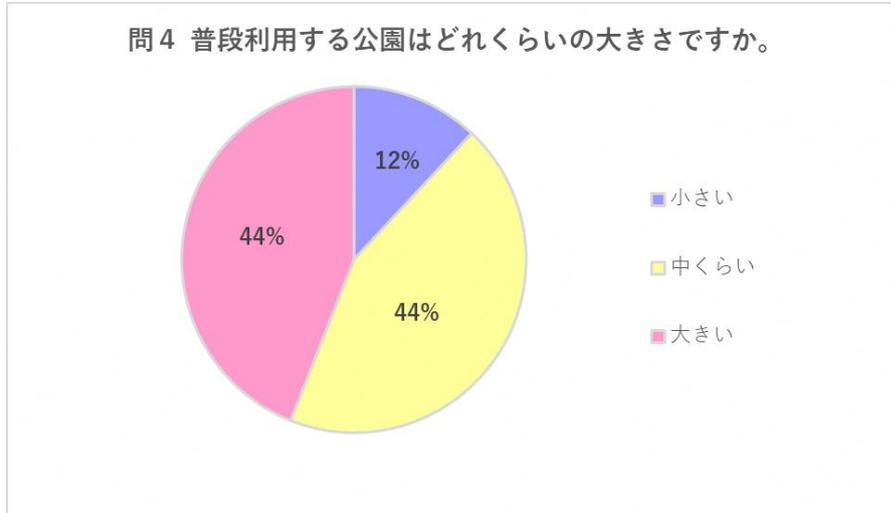
【p 36 参考資料あり】

	回答数
人と人の距離をとるようになった	295
変化はない	183
時間や場所を選ぶようになった	160
身近な公園を利用するようになった	112
公園を利用する回数が増えた	98
公園を利用する回数が減った	93
ゆずりあうようになった	43
その他	8

問4：普段利用する公園の大きさ

中くらいから大きい公園を利用する人が多い

大きな公園がより利用されている傾向にあり、小さい公園を利用している人は12%にとどまっている。



回答者数 575 最もあてはまるもの1つを選択

	回答数
小さい（砂場や小さなすべり台などの遊具があるくらいの広さ）	69
中くらい（いくつかの遊具に加えて広場があり、走り回れるくらいの広さ）	253
大きい（ジョギングに利用できるくらいの広さ）	253

具体的に挙げられた公園名称上位 10 位

	公園名	件数
1	千里南公園	92
2	江坂公園	50
3	服部緑地	44
4	千里北公園	24
5	片山公園	18
6	桃山公園	17
7	健都レールサイド公園	10
7	佐井寺南が丘公園	10
7	佐竹公園	10
10	古江公園	8
	その他	181

【その他：「市内」の公園で多く挙げられた公園名称】

（万博記念公園）、南吹田公園、紫金山公園

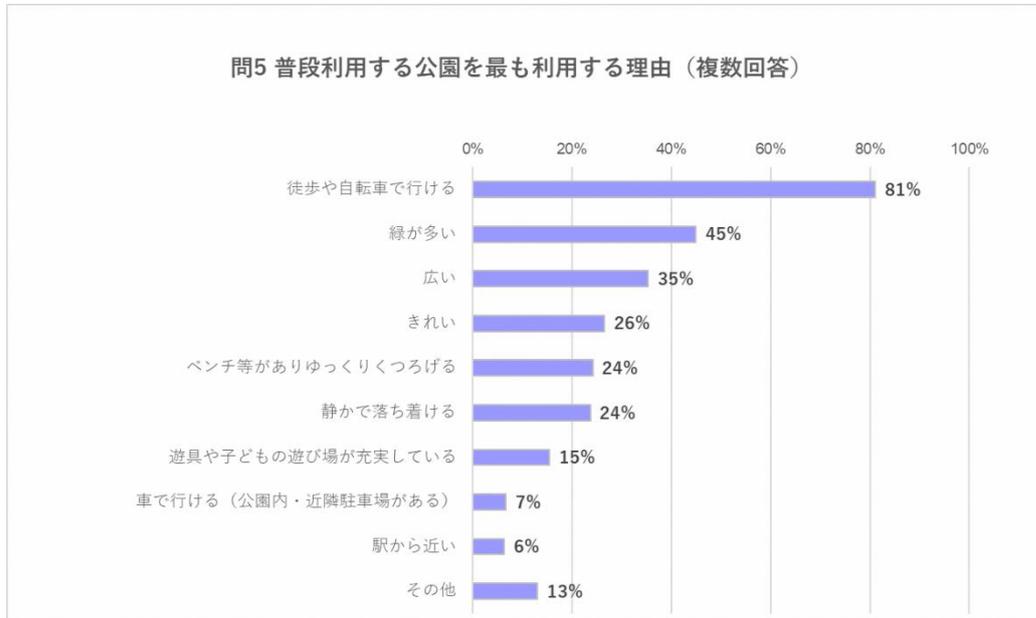
【その他：「市外」の公園で多く挙げられた公園名称】

千里中央公園（豊中市）、市場池公園（摂津市）

問5：普段利用する公園を最も利用する理由

普段利用しやすいのは「近い」公園

その公園を最も利用する理由として、徒歩や自転車で行けるといった「近い」を理由に選ぶ人が約8割を超えている。また緑が多いこと、「広さ」や「きれいさ」、「くつろげる」、「静かで落ち着ける」ことなども理由として多く挙げられている。



回答者数 608 複数回答

	回答数
徒歩や自転車で行ける	493
緑が多い	273
広い	215
きれい	161
ベンチ等がありゆっくりくつろげる	147
静かで落ち着ける	144
遊具や子どもの遊び場が充実している	94
車で行ける（公園内・近隣駐車場がある）	41
駅から近い	39
その他	79

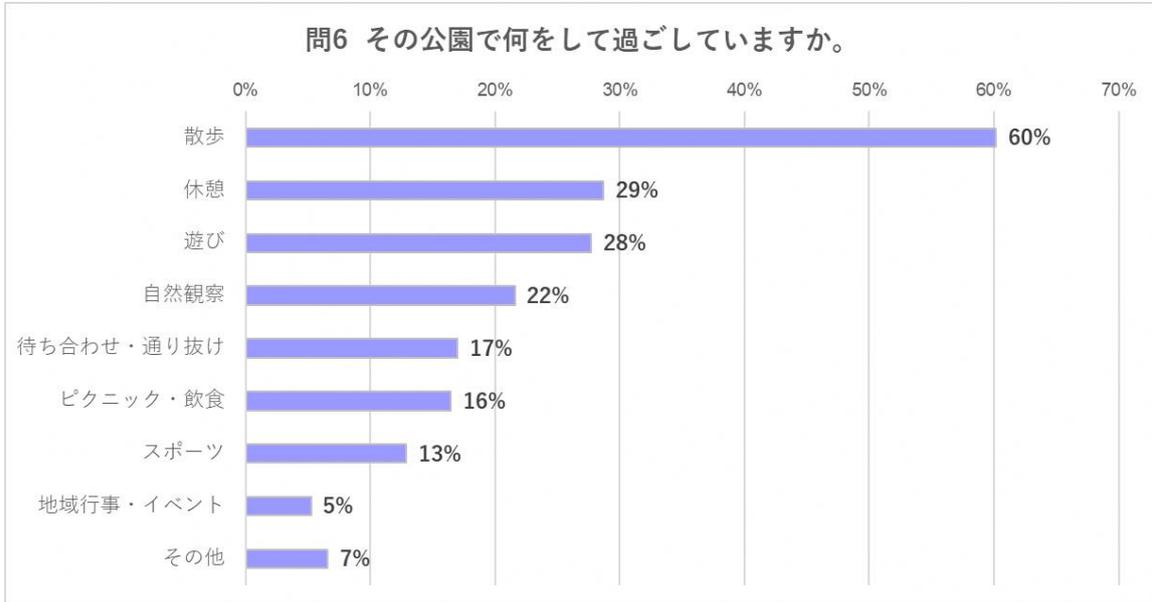
【その他の主なご意見 p37 参考資料あり】

自然・野鳥観察	17
運動・スポーツ	16
散歩・ウォーキング	9
犬（ペット）の散歩	8
通り抜け	5
その他	24

問6：公園での過ごし方

公園で最も多い過ごし方は「散歩」

公園での過ごし方については「散歩」が最も多く、6割を超えている。続いて「休憩」・「遊び」・「自然観察」をして過ごす人が多い。



回答者数 607 複数回答

	回答数
散歩	365
休憩	174
遊び	168
自然観察	131
待ち合わせ・通り抜け	103
ピクニック・飲食	100
スポーツ	78
地域行事・イベント	32
その他	40

【その他の主なご意見 p37 参考資料あり】

子どもの付き添い	14
運動	14
犬（ペット）の散歩	9
その他	12

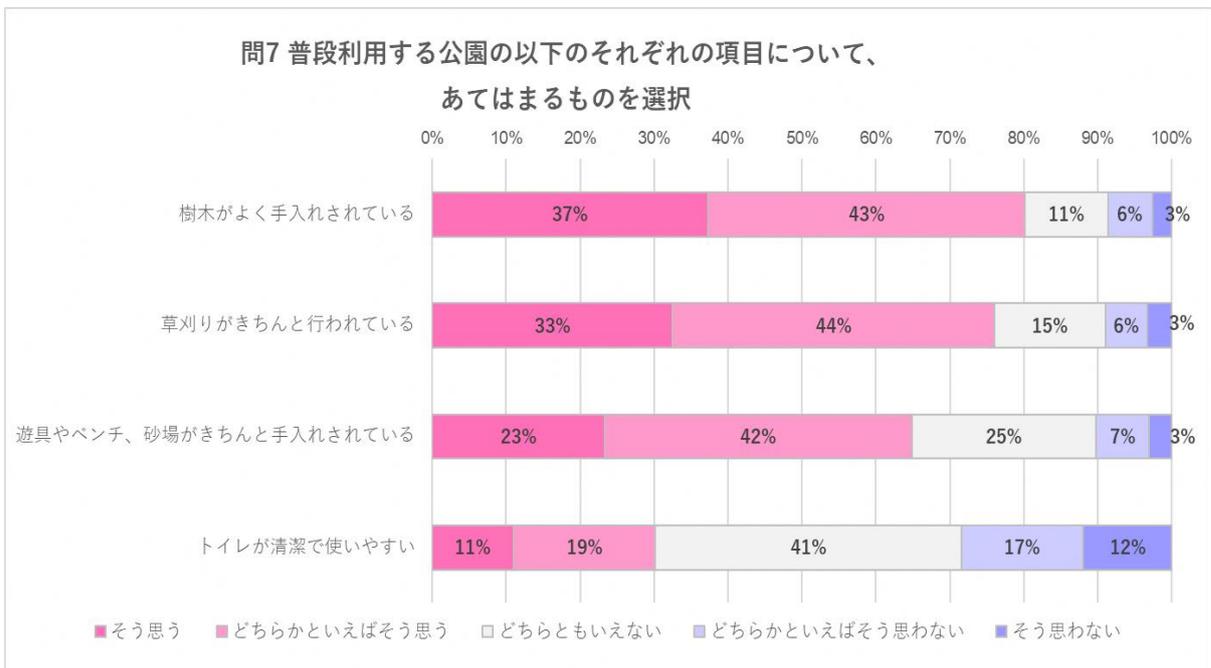
問7：公園の維持管理の評価

公園の樹木管理、草刈りの手入れに関する評価は高く
トイレに関する評価はやや低い

普段利用している公園の評価については、約8割の人が「樹木がよく手入れされている」、「草刈りがきちんと行われている」と回答している。

「遊具やベンチ、砂場がきちんと手入れされている」に対しては、少し評価が下がり、約6割の方が「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を回答している。

「トイレが清潔で使いやすい」に対しては、約3割の人が、「そう思わない」を選択しており、他の項目より評価が低くなっている。この傾向は2017年のアンケート時とほぼ同じ結果である。



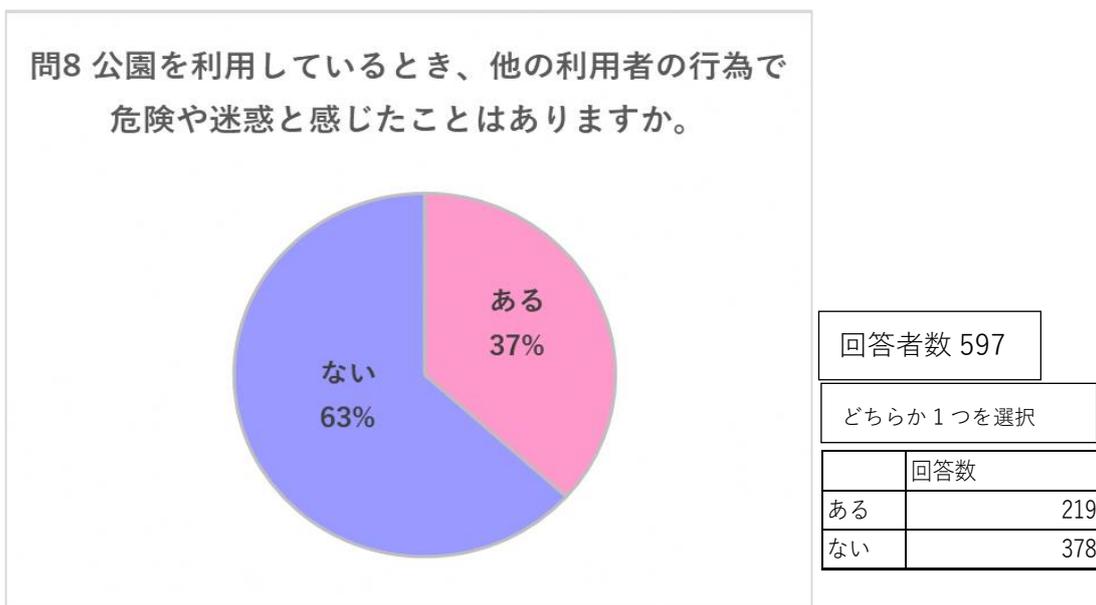
最もあてはまるもの1つを選択

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
樹木がよく手入れされている	225	258	68	36	16
草刈りがきちんと行われている	195	261	90	34	20
遊具やベンチ、砂場がきちんと 手入れされている	136	243	145	42	18
トイレが清潔で使いやすい	58	101	218	87	63

問8：公園での危険行為、迷惑行為の有無

公園で危険を感じた行為は「ボール遊び」が多い

半数以上が危険行為や迷惑行為は「ない」と回答しているが、約4割の人は「ある」と回答。



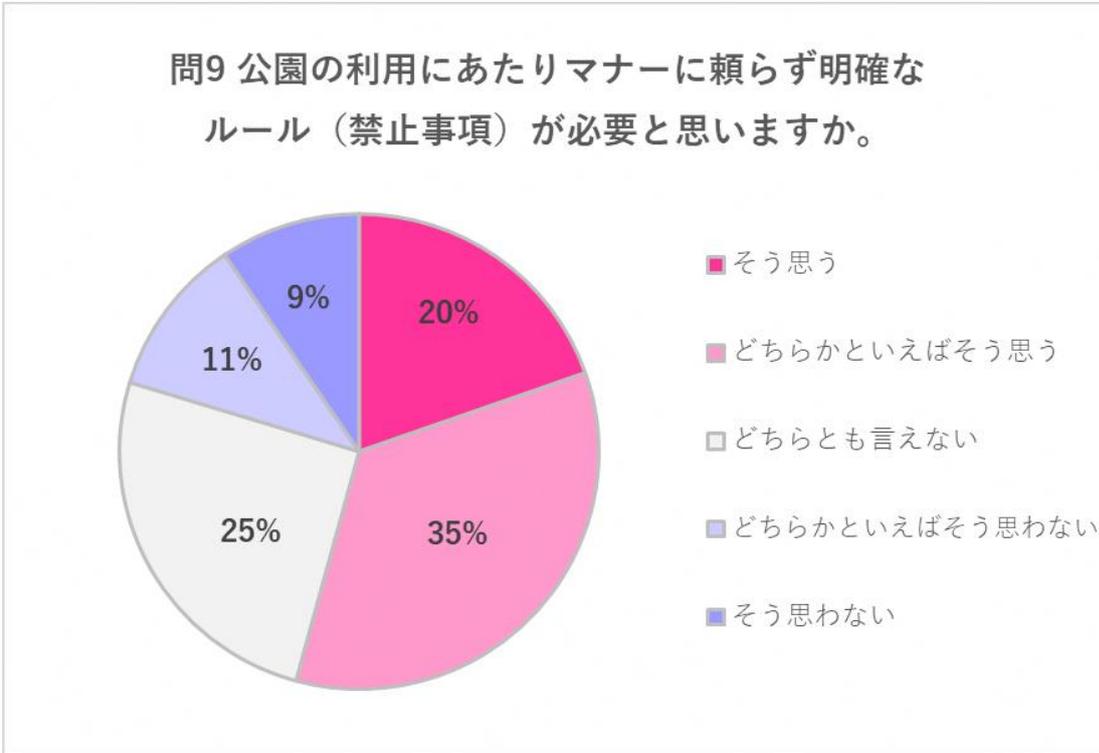
問8で「ある」と回答した方に危険や迷惑と感じた行為は、具体的にどのような行為か回答いただいた結果を分類すると以下の表の結果となる。「ボール遊び」が最も多く、狭い場所や小さな子どもがいる中でのボール遊び、硬いボールでの遊びに危険を感じたという声が多く見受けられた。続いて公園内の自転車走行や駐輪スペースのマナーが危険・迷惑と感じたという回答が多かった。

行為の内容	件数
ボール遊び・球技（野球、サッカー、バトミントン等、素振り含む）	70
自転車走行、バイク乗り入れ、駐輪スペースのマナー等	43
喫煙、歩きタバコ、吸い殻ポイ捨て、ゴミの放置等	24
スケートボード、キックボード等	20
小中高生の利用マナー（幼児への配慮、周りが見えていない等）	17
花火、騒ぎ声、夜のたまり場	17
飼い主のマナー（リードを外す、糞の放置、ベンチに座らせる等）	16
保護者のマナー、親が目を離している	10
遊具の正しい遊び方を守らない	8
水遊び、水道出しっぱなし、水風船	7
独占利用	6
バーベキュー	5
鳥、野良猫への餌やり	4
禁止場所での釣り	4
遊具に居座る人、ホームレス	3
その他（飲酒、マスクに関する事、ジョギング等）	25

問9：公園のルールの必要性

明確なルールが必要と感じている人は約半数

公園利用について明確なルール（禁止事項）が必要と回答している人が約半数いることに対して、規制が増えることにより子どもの遊びが制限されるということから、ルールが必要と感じていない人は約2割、どちらとも言えないと回答した人が2割以上となっている。



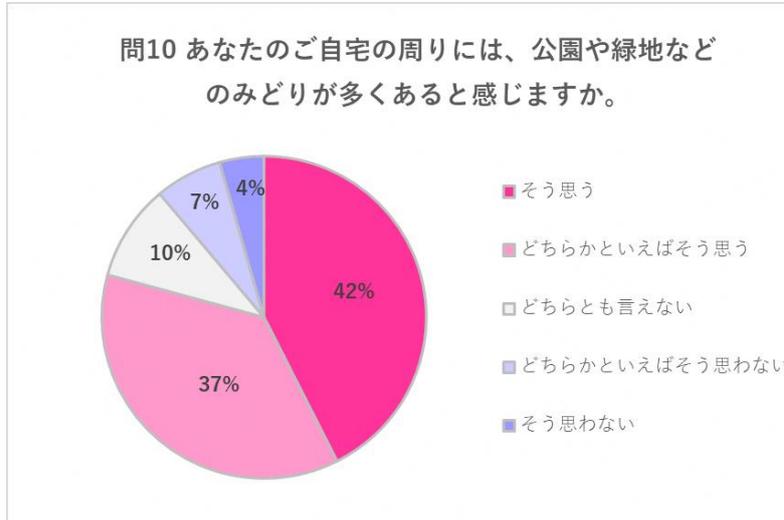
回答者数 601 | 最もあてはまるもの1つを選択

	回答数
そう思う	118
どちらかといえばそう思う	208
どちらとも言えない	153
どちらかといえばそう思わない	65
そう思わない	57

問 10：市内のみどりの量について

市内にみどりが多いと感じている人が多い

自宅周辺には公園や緑地などのみどりが多くあると約 8 割の人が感じている。

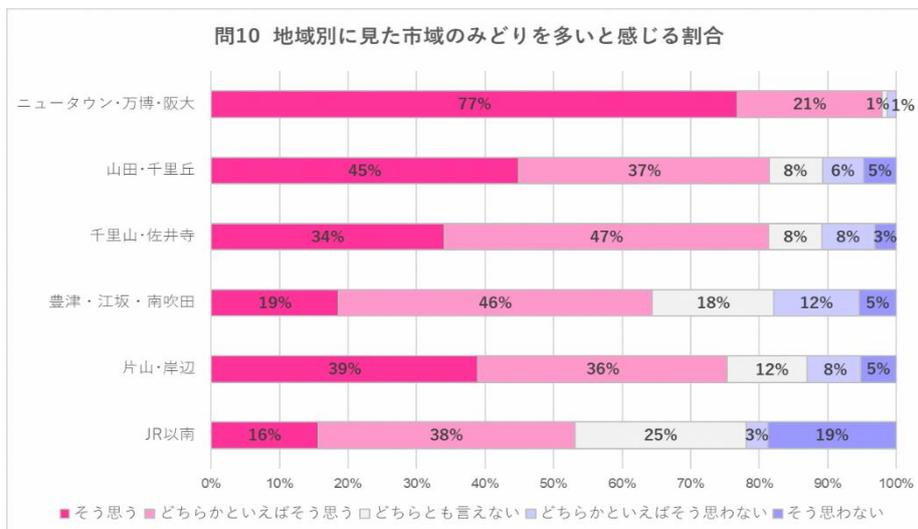


回答者数 747

最もあてはまるもの 1 つを選択

	回答数
そう思う	318
どちらかといえばそう思う	274
どちらとも言えない	72
どちらかといえばそう思わない	50
そう思わない	33

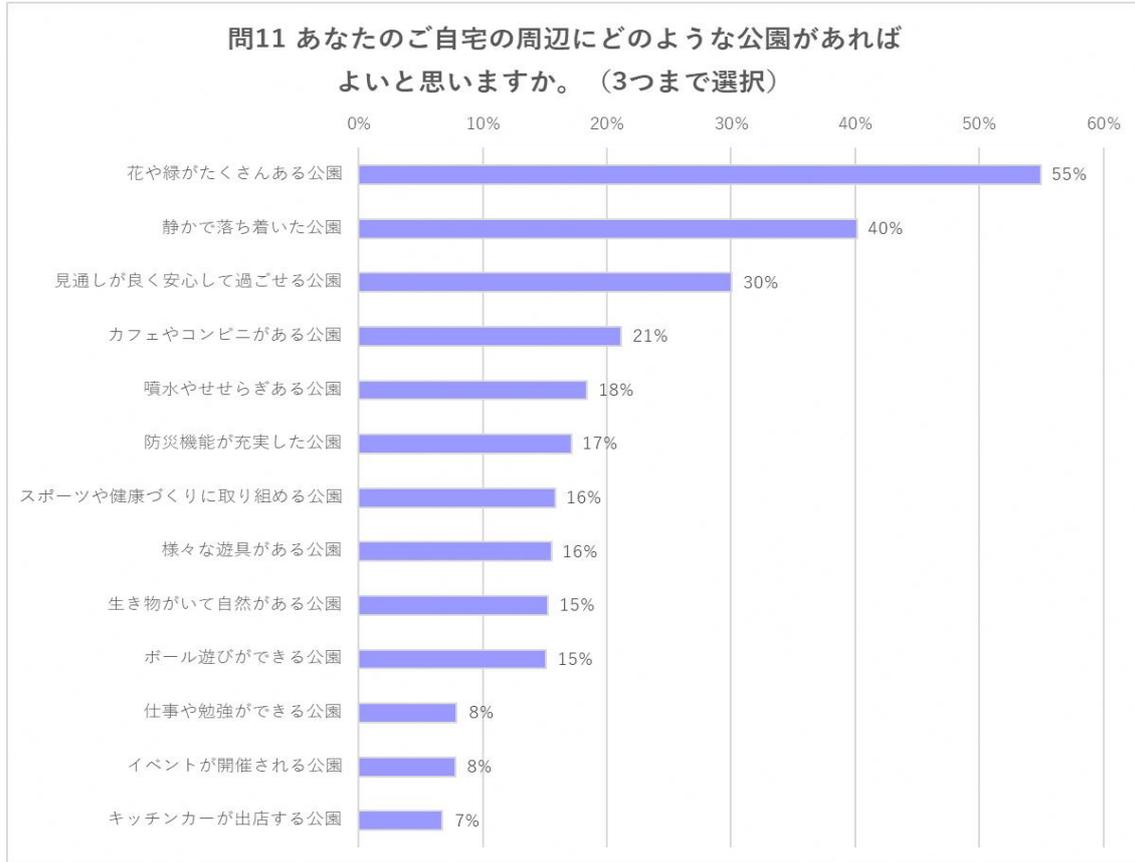
地域別にみると、千里ニュータウン・万博・阪大地域では 9 割以上の人が「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と感じている。次いで山田・千里丘となっている。JR 以南地域では「そう思わない」と回答した人は約 2 割になるが、半数以上の方は「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答している。



問 11：自宅周辺にあればよいと思う公園

**花や緑がたくさんある公園、
静かで落ち着いた公園を求める声が多い**

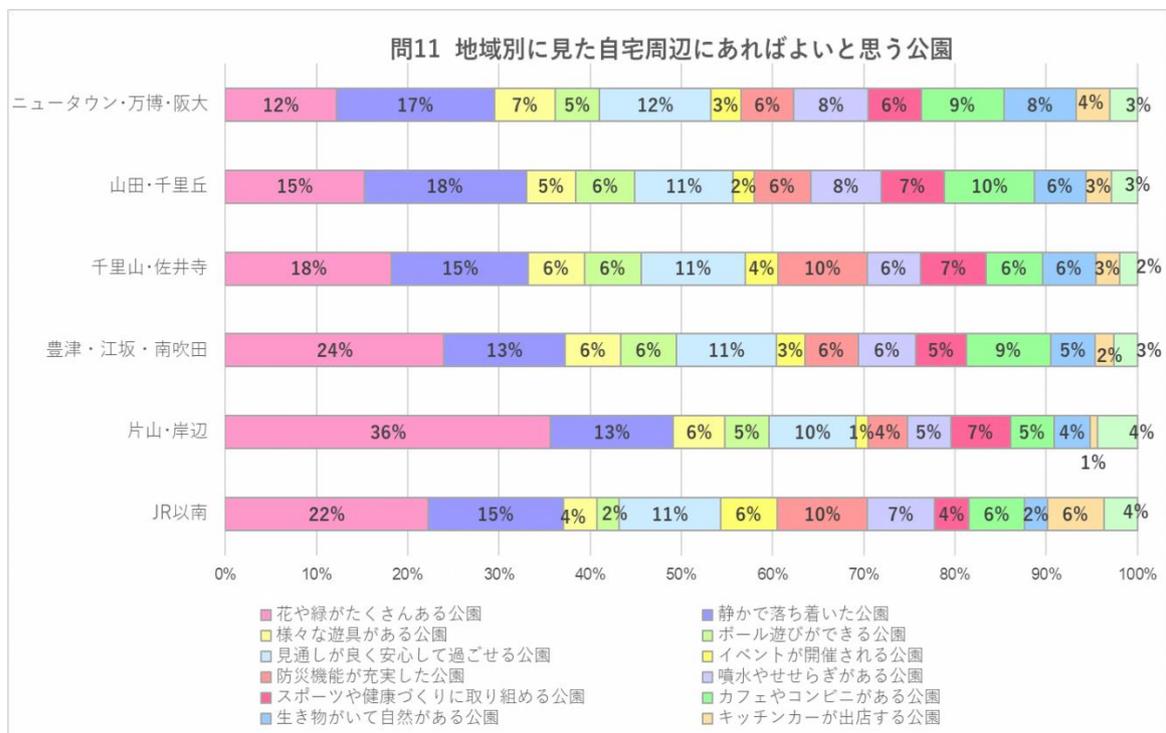
半数以上が「花や緑がたくさんある公園」を選択しており、2017年と同じ傾向である。次いで「静かで落ち着いた公園」、「見通しが良く安心して過ごせる公園」と続いている。



回答者数 695 3つまで選択

	回答数
花や緑がたくさんある公園	382
静かで落ち着いた公園	279
見通しが良く安心して過ごせる公園	209
カフェやコンビニがある公園	147
噴水やせせらぎある公園	128
防災機能が充実した公園	119
スポーツや健康づくりに取り組める公園	110
様々な遊具がある公園	108
生き物がいて自然がある公園	106
ボール遊びができる公園	105
仕事や勉強ができる公園	55
イベントが開催される公園	54
キッチンカーが出店する公園	47

地域別にみると、北部と南部で傾向の違いが見受けられる。「ニュータウン・万博・阪大」、「山田・千里丘」地域では、「静かで落ち着いた公園」が自宅周辺にあればよいと回答した人が最も多く、「千里山・佐井寺」、「豊津・江坂・南吹田」、「片山・岸辺」、「JR以南」地域では「花や緑がたくさんある公園」と回答した人が最も多かった。



問 12：公園にあればよいと思うもの

きれいなベンチやトイレを求める声が多い

公園にあればよいと思うものは「ベンチ（きれいな、座り心地のよい等）」、「トイレ（きれいな、おむつ替えができる等）」が最も多い回答となった。次いで「日よけや屋根のある施設」、「花や緑」、「カフェ」、「球技ができる場所」が続いた。

2017年時に比べて、「ゴミ箱」、「駐車場・駐輪場」「区画を分けてほしい（幼児が安心して遊べるように、遊びごとに、大人がゆったりと過ごせるように）」等の意見は今回のアンケートで多く見られるようになった。

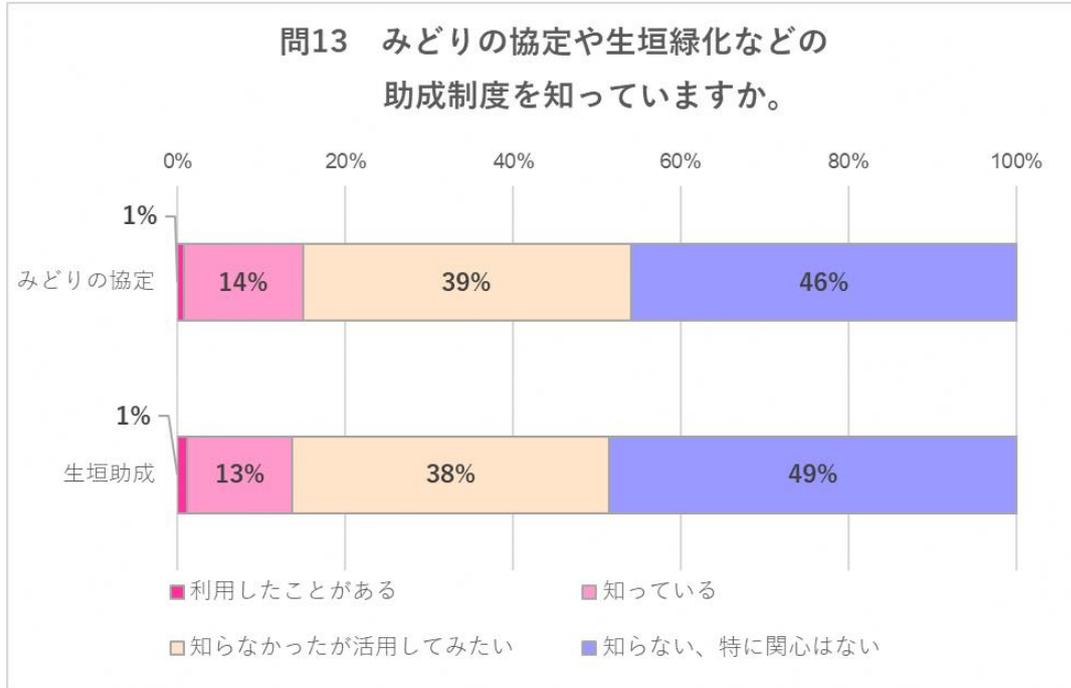
自由記入

公園にほしい施設	回答数
ベンチ（きれいな、増設、座り心地の良い、適度な間隔で等）	88
トイレ（きれいで清潔感のある、安全な、おむつ替えができる、子ども用等）	82
日陰、屋根のある施設（日よけ、雨よけ、屋根付きベンチ・テーブル、休憩スペース、木陰等）	60
花、緑、自然、樹木、花壇等	41
カフェ（おしゃれ、手ごろな値段の等）	41
球技ができる場所（バスケットボール、テニス、サッカー、キャッチボール、壁打ち練習等）	31
遊具（鉄棒、うんてい等）、砂場	30
手洗い場、水飲み場等	28
コンビニ、売店（軽食等）、自動販売機	26
噴水、小川、水遊び場、池、釣り堀	25
ゴミ箱	15
健康づくりに取り組める器具	15
防災、防犯等設備（防災設備、防犯カメラ、防犯ブザー、交番）	14
ドッグラン等	14
芝生	11
現状で満足	10
バーベキュー、火気使用が可能・花火ができる場所、キャンプ施設	10
ウォーキング、ランニングコース（距離表示等）	9
駐車場、駐輪場	9
区画をわけてほしい（幼児が安心して遊べるように、遊びごとに、大人がゆったり過ごすことができ	7
街灯、照明	5
その他（集会所、図書館、勉強スペース、キッチンカー、植物園、イベント、wi-fi等）	82

問 13：緑化のための助成制度の認知度

緑化のための助成制度を知らない人が多い

「みどりの協定」、「生垣助成」どちらの制度も約8割は「知らない」と回答しているが、約4割の人は「知らなかったが活用してみたい」と回答している。この傾向は2017年とほぼ同じで、制度について引き続き周知、啓発が必要である。



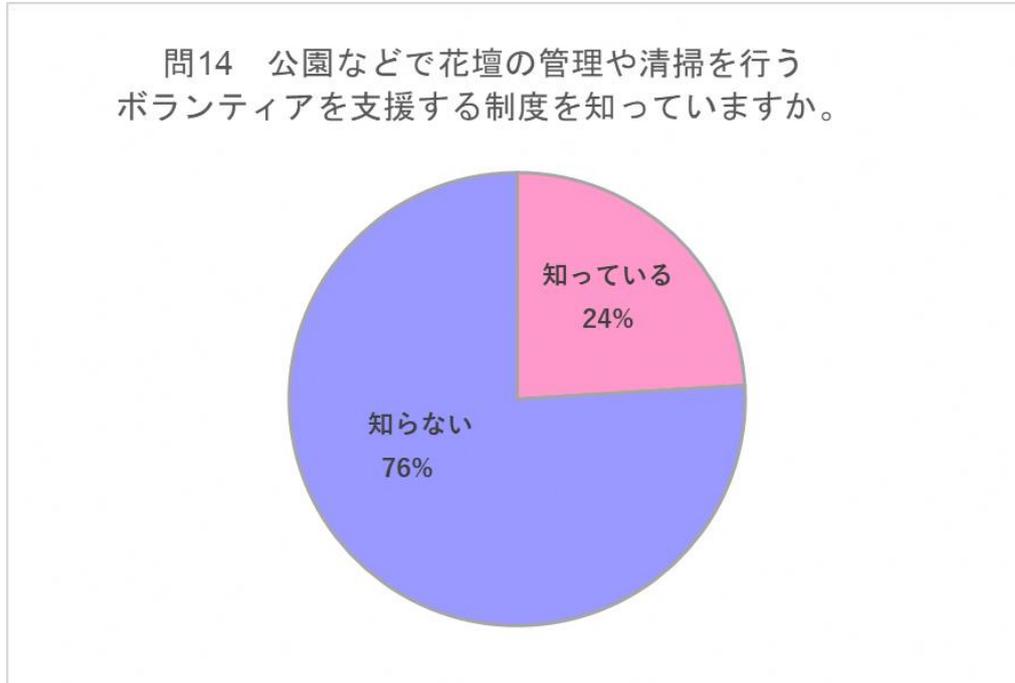
最もあてはまるもの1つを選択

	利用したことがある	知っている	知らなかったが活用してみたい	知らない、特に興味はない
みどりの協定	6	104	289	339
生垣助成	8	92	275	355

問 14：みどりのボランティア制度の認知度

みどりのボランティア制度を知らない人が多い

公園などで行うボランティア制度について、7割以上の方が「知らない」と回答しているが、「緑化のための助成制度」より認知度が高い。



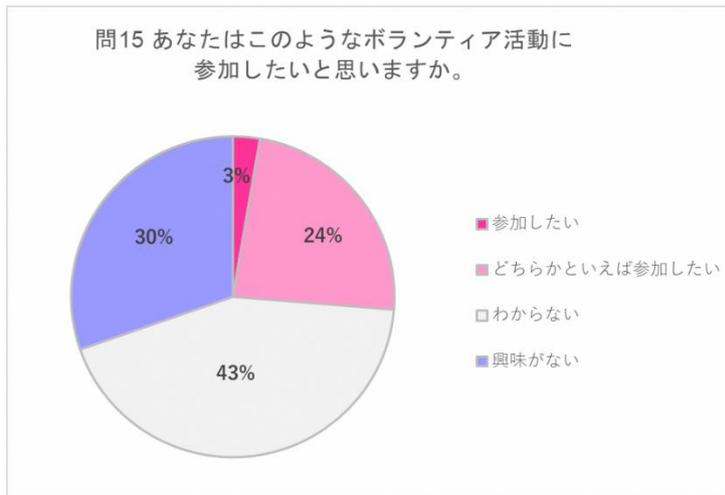
回答数者 749	どちらか1つを選択
	回答数
知っている	180
知らない	569

問 15：みどりのボランティア活動への参加意欲について

「わからない」と回答した人が多い

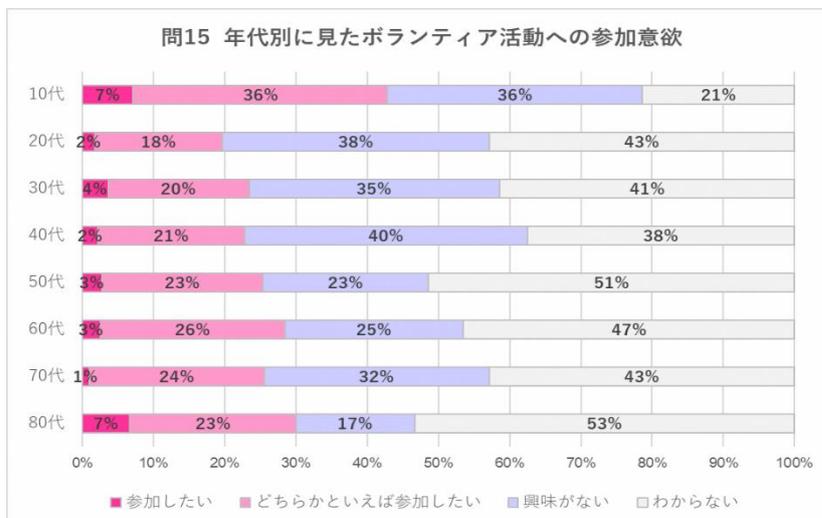
参加したい人が気軽に参加できるよう周知が必要

公園などで行うボランティア活動への参加については「わからない」と回答する人が最も多く4割以上を占めている。「参加したい」、「どちらかといえば参加したい」と回答した人と「興味がない」と回答した人はどちらも約3割で同じぐらいの割合である。参加したい人が気軽に参加できる仕組みづくりや周知が課題。



回答者数 742	最もあてはまるもの1つを選択
	回答数
参加したい	20
どちらかといえば参加したい	175
わからない	322
興味がない	225

年代別に見ると、20代～40代は「興味がない」と回答した人の割合が高い。10代の「参加したい」、「どちらかといえば参加したい」と回答した人の割合は2017年より1割程度高くなっている。



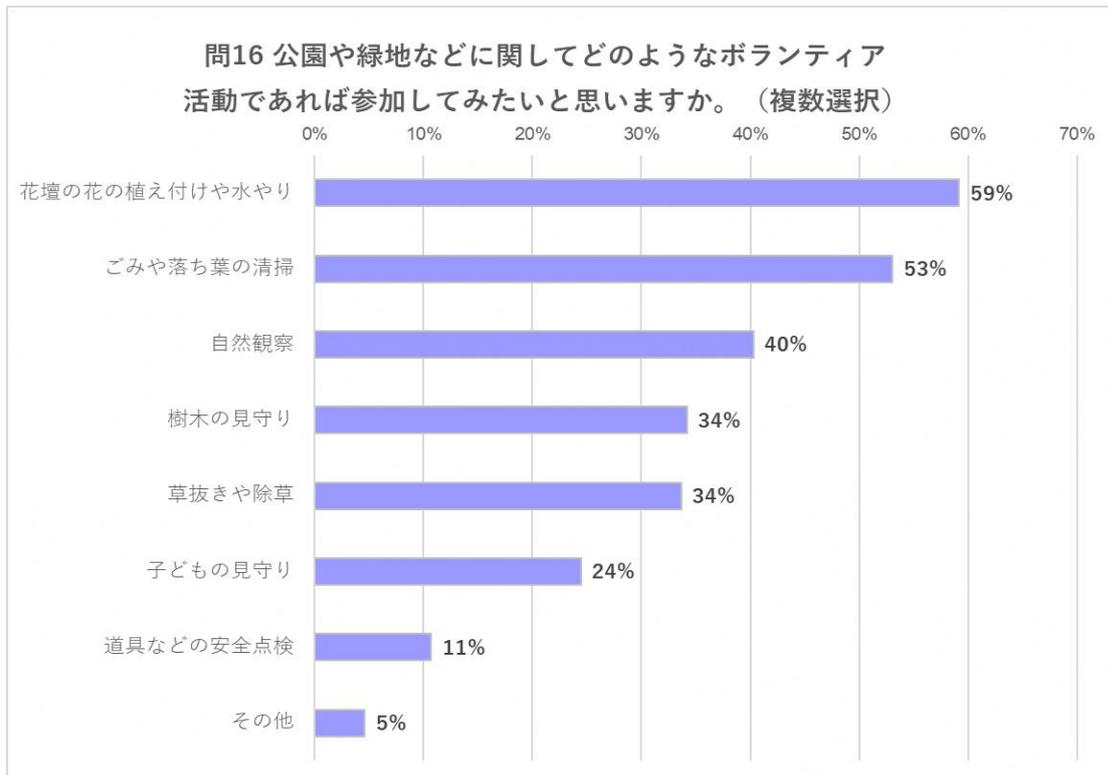
問 16：参加してみたいボランティア活動について

※問 15 で「参加したい」、「どちらかといえば参加したい」を選んだ人にご回答頂いた。

参加してみたいボランティアは

「花壇の植え付けや水やり」、「ごみや落ち葉の清掃」など

「花壇の花の植え付けや水やり」、「ごみや落ち葉の清掃」と回答した人が多く、2017 年の傾向と類似している。次いで「自然観察」と回答した人が多い。



回答者数 196 複数回答

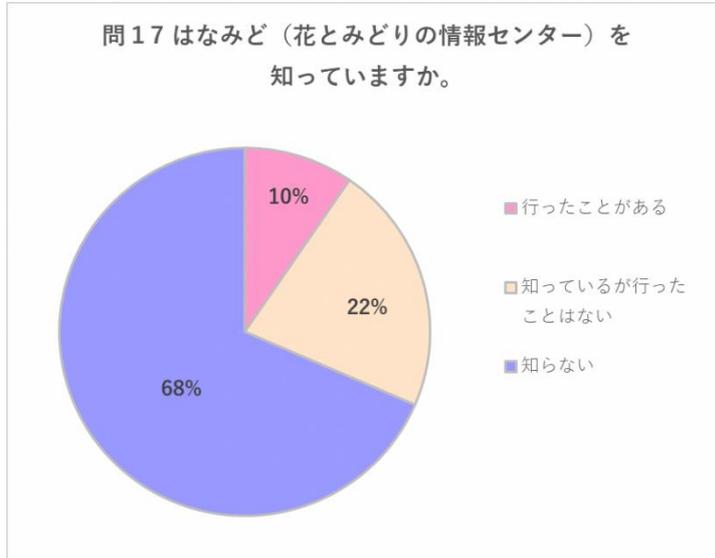
【p37 参考資料あり】

	回答数
花壇の花の植え付けや水やり	116
ごみや落ち葉の清掃	104
自然観察	79
樹木の見守り	67
草抜きや除草	66
子どもの見守り	48
道具などの安全点検	21
その他	9

問 17：花とみどりの情報センターの認知度について

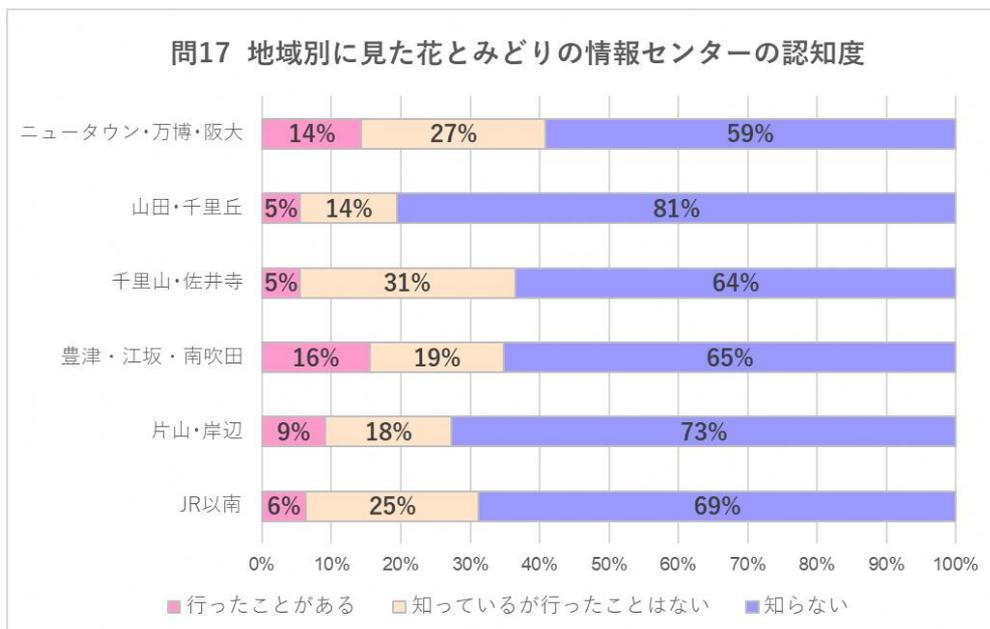
「花とみどりの情報センター」を知らない人が多い

花とみどりの情報センターの認知度については、約7割の人が「知らない」と回答しており、まだ十分認知されていないことがわかる。



回答者数 743	最もあてはまるもの1つを選択
回答数	
行ったことがある	71
知っているが行ったことはない	163
知らない	509

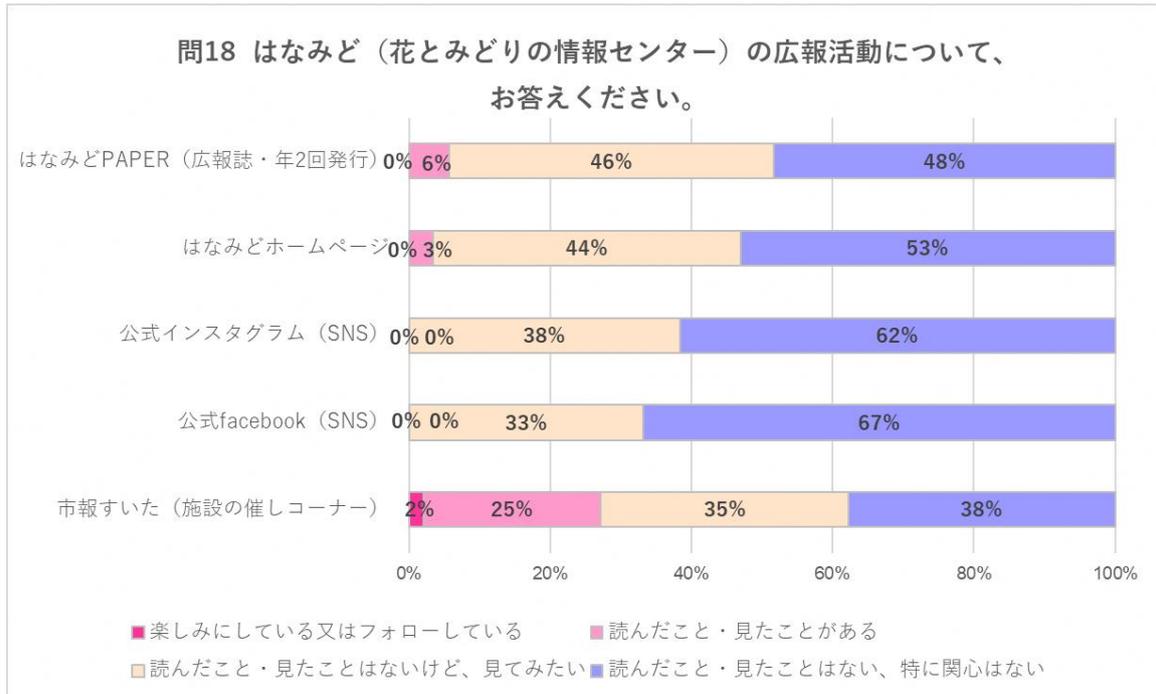
地域別にみると「花とみどりの情報センター」がある「ニュータウン・万博・阪大地域」での認知度や以前「江坂花とみどりの情報センター」があった「豊津・江坂・南吹田地域」での認知度がやや高い傾向がある。全体的に見ると約6割以上の方にまだ認知されていない。



問 18：花とみどりの情報センターの広報活動の認知度について

「はなみど」の情報は「市報すいた」で見る人が多い

花とみどりの情報センターの広報活動の中では「市報すいた（施設の催しコーナー）」の認知度が一番高く、イベント予約も市報を見た人からの問い合わせが多くなっている。次いで広報誌「はなみど PAPER」や「はなみどホームページ」の認知度となるが、全体的には市報以外は約 9 割の人が広報活動の媒体を「見たことはない」との回答で、特に SNS の認知度は低く、広報の工夫が課題である。



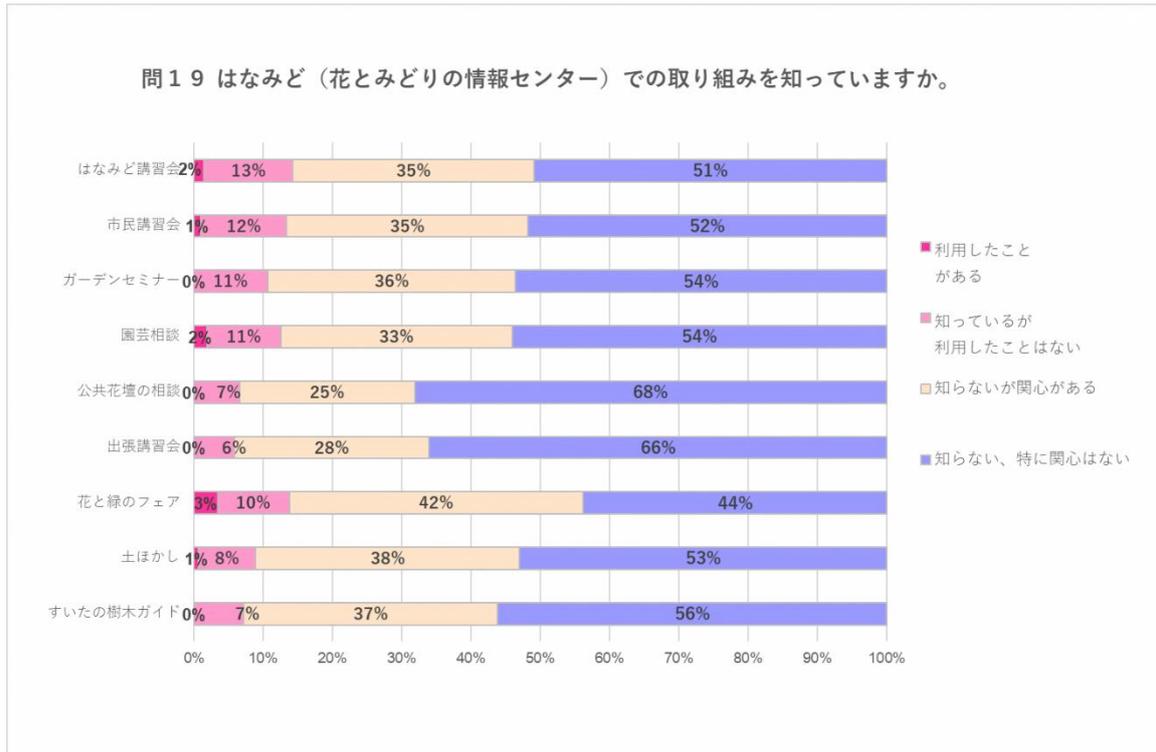
最もあてはまるもの 1 つを選択

	楽しみにしている又はフォローしている	読んだこと・見たことがある	読んだこと・見たことはないけど、見てみたい	読んだこと・見たことはない、特に興味はない
はなみどPAPER（広報誌・年2回発行）	0	41	330	347
はなみどホームページ	0	24	309	376
公式Instagram（SNS）	0	0	269	432
公式facebook（SNS）	0	0	232	468
市報すいた（施設の催しコーナー）	15	181	253	272

問 19：花とみどりの情報センターの取り組みの認知度について

必要な人にサービスが届く「仕組みづくり」と周知を

取り組みの中では「花と緑のフェア」、「はなみど講習会」、「市民講習会」、「園芸相談」の認知度の割合が高いが、いずれの取り組みも「知らない、特に興味はない」と回答している人が約半数となっている。特に「公共花壇の相談」や「出張講習会」についてはその割合が高くなっている。「知らないが興味がある」と回答している人も3割前後いることから、取り組みについて引き続き周知、啓発していく必要がある。



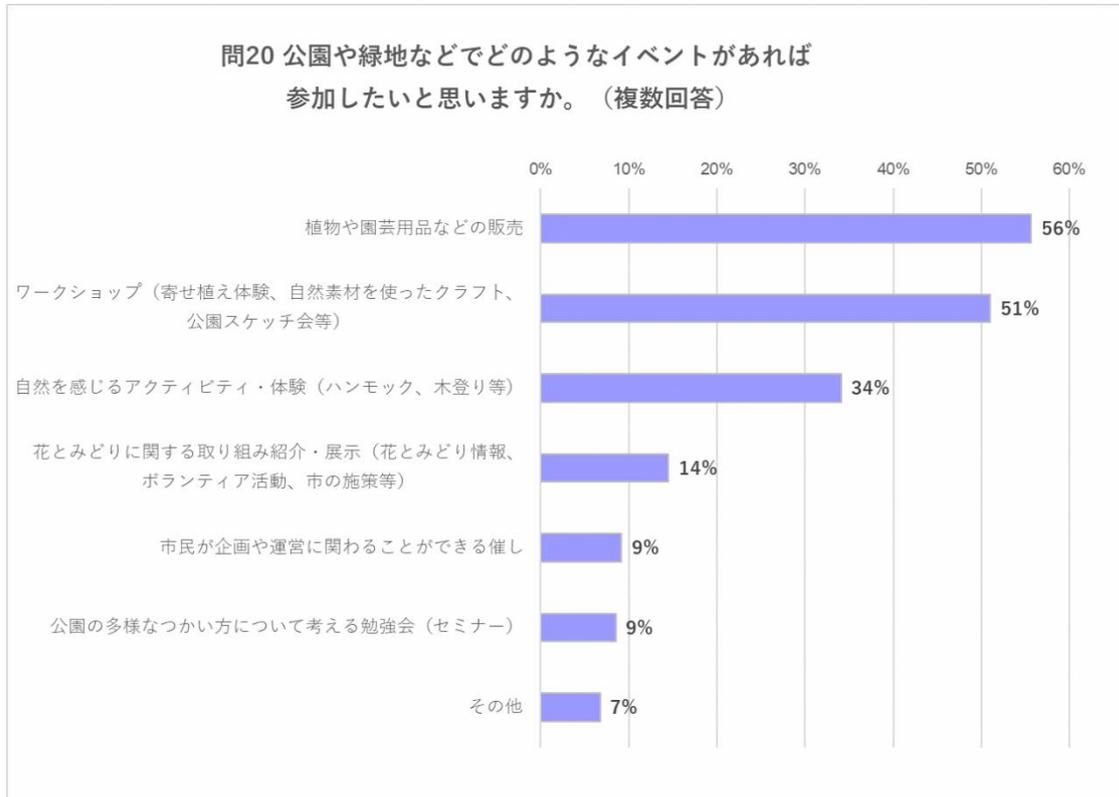
最もあてはまるもの1つを選択

	利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らないが興味がある	知らない、特に興味はない
はなみど講習会	11	93	254	370
市民講習会	7	90	252	374
ガーデンセミナー	0	77	257	386
園芸相談	14	77	242	391
公共花壇の相談	0	47	181	487
出張講習会	0	42	200	471
花と緑のフェア	25	75	308	318
土ほかし	5	59	274	381
すいたの樹木ガイド	0	51	260	398

問 20：公園や緑地などで、あれば参加したいみどりに関するイベント

「植物や園芸用品の販売」、「体験型のワークショップ」など

公園や緑地で、あれば参加したいイベントとして「植物や園芸用品の販売」、「ワークショップ（寄せ植え体験、自然素材を使ったクラフト、公園スケッチ会等）」と回答した人が半数以上となった。次いで自然を感じるアクティビティ・体験と答えた人が約3割となった。



回答者数 622

複数回答

【p38 参考資料あり】

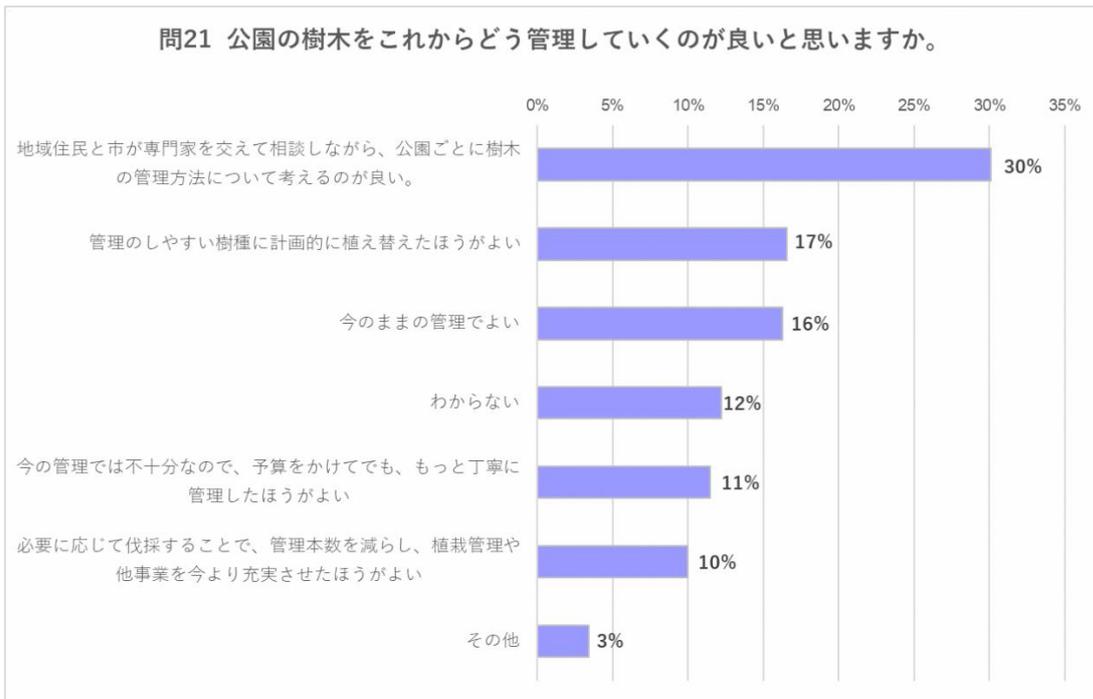
	回答数
植物や園芸用品などの販売	346
ワークショップ（寄せ植え体験、自然素材を使ったクラフト、公園スケッチ会等）	317
自然を感じるアクティビティ・体験（ハンモック、木登り等）	212
花とみどりに関する取り組み紹介・展示（花とみどり情報、ボランティア活動、市の施策等）	90
市民が企画や運営に関わることができる催し	57
公園の多様なつikai方について考える勉強会（セミナー）	53
その他	42

問 21：公園の樹木をこれからどう管理していくのがよいかについて

**地域住民と市が専門家を交えて相談しながら
公園ごとに樹木の管理方法について考えるのがよい**

「地域住民と市が専門家を交えて相談しながら、公園ごとに樹木の管理方法について考えるのがよい」と答えた人が最も多く全体の約3割となった。

次いで「管理のしやすい樹種に計画的に植え替える」、「今のままの管理でよい」が多かった。



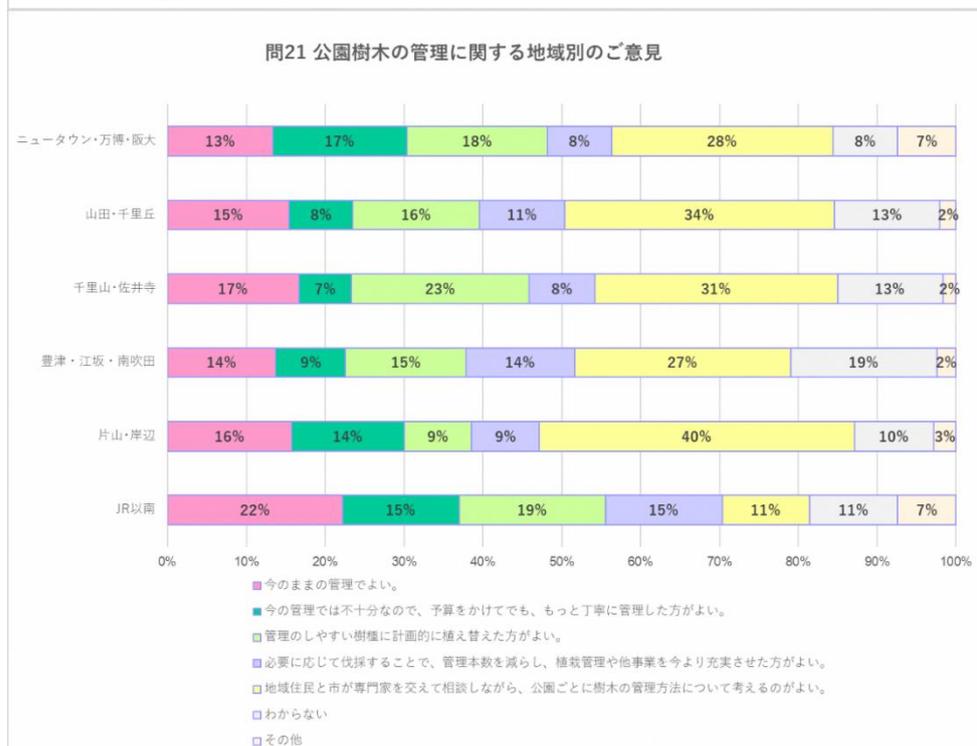
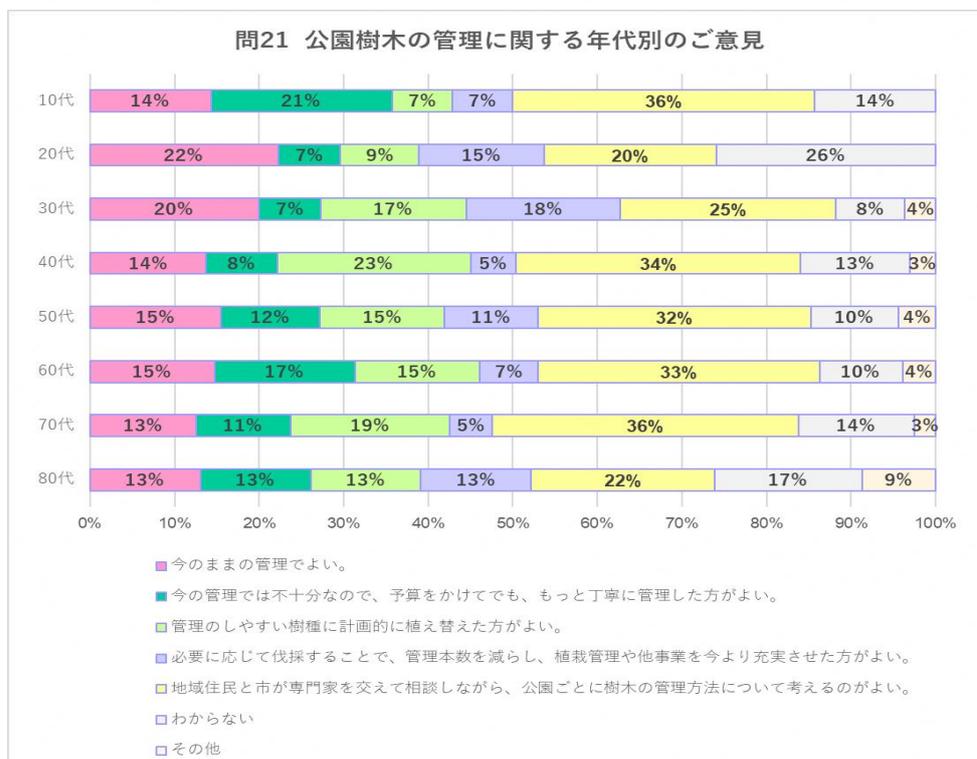
回答者数 671 最もあてはまるもの1つを選択

	回答数
地域住民と市が専門家を交えて相談しながら、公園ごとに樹木の管理方法について考えるのが良い。	202
管理のしやすい樹種に計画的に植え替えたほうがよい	111
今のままの管理でよい	109
わからない	82
今の管理では不十分なので、予算をかけてでも、もっと丁寧に管理したほうがよい	77
必要に応じて伐採することで、管理本数を減らし、植栽管理や他事業を今より充実させたほうがよい	67
その他	23

【p 39,40 参考資料あり】

その他の主なご意見として「民間に依頼したり、専門家の意見を聞いてコストを下げる」、「安心・安全のために必要な管理を希望」、「伐採した後の木を何かに活かせないか」といった声が挙げられた。

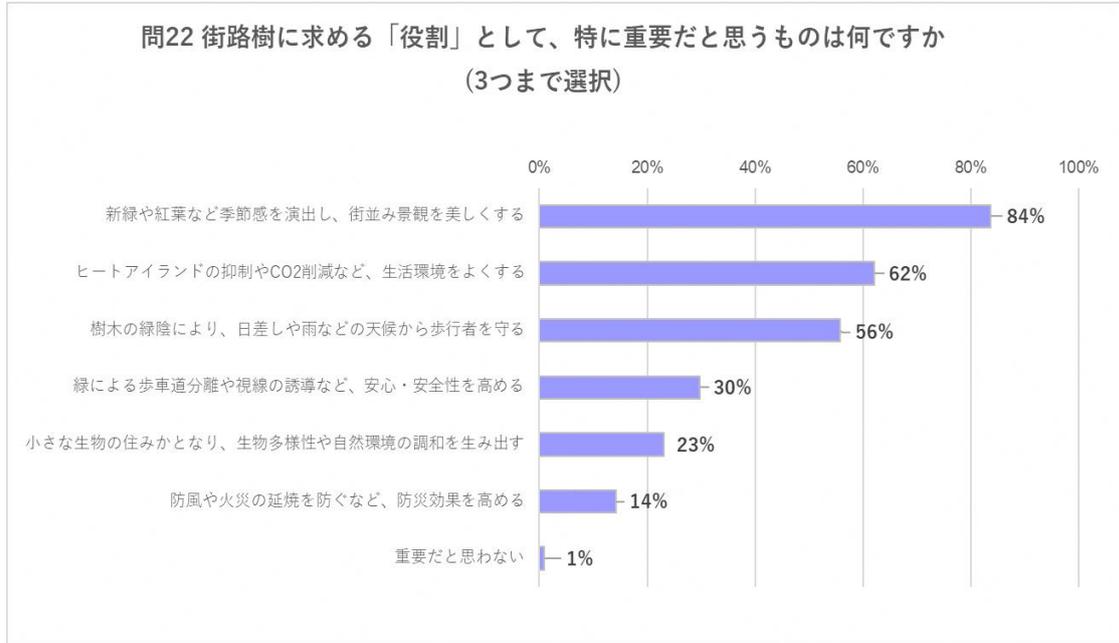
どの年代も比較的「地域住民と市が専門家を交えて相談しながら、公園ごとに樹木の管理方法について考えるのがよい」を選択した人が多かった。地域別の傾向をみると JR 以南以外は「地域住民と市が専門家を交えて相談しながら、公園ごとに樹木の管理方法について考えるのがよい」が最も多く、JR 以南では「今のままの管理でよい」の回答割合が高くなっていて傾向の違いがうかがえる。問 10 で「自宅周辺には公園や緑地などのみどりが多くあると感じるか」という問いでも地域別の傾向の違いがあったので関連性があるかもしれない。



問 22：街路樹に求める「役割」として重要に思うもの

新緑や紅葉など季節感を演出し、街並み景観を美しくする

「新緑や紅葉など季節感を演出し、街並み景観を美しくする」と回答した人が最も多く全体の8割以上となった。次いで「ヒートアイランドの抑制やCO2削減」、「緑陰により歩行者を守る」が半数を超える回答であった。



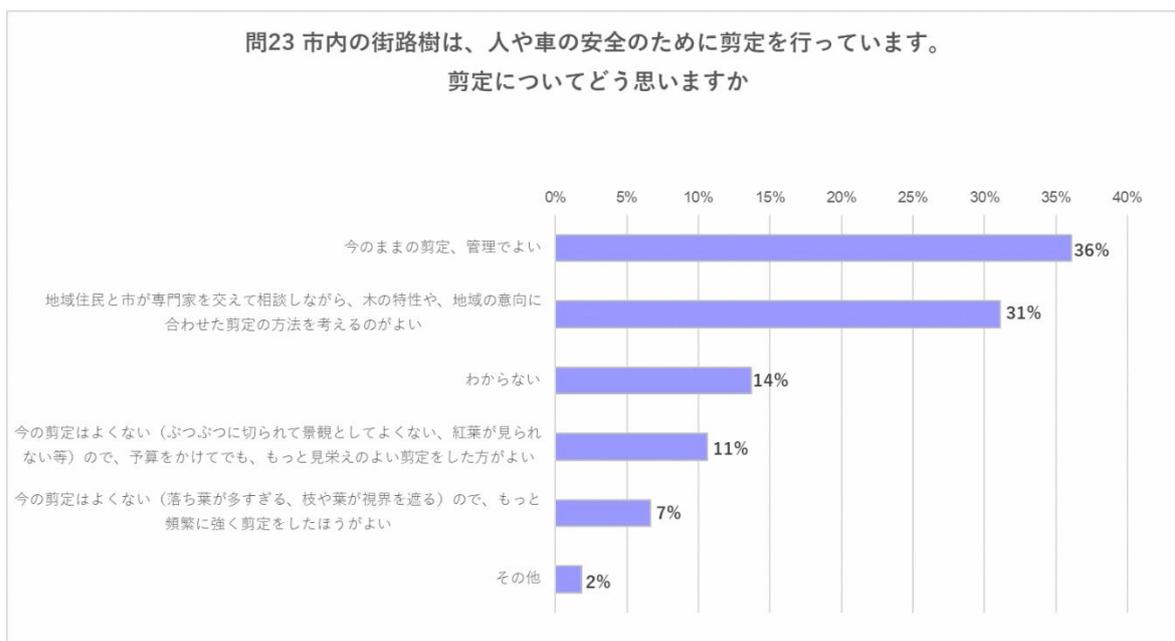
回答者数 706 3つまで選択

	回答数
新緑や紅葉など季節感を演出し、街並み景観を美しくする	591
ヒートアイランドの抑制やCO2削減など、生活環境をよくする	438
樹木の緑陰により、日差しや雨などの天候から歩行者を守る	394
緑による歩車道分離や視線の誘導など、安心・安全性を高める	210
小さな生物のすみかとなり、生物多様性や自然環境の調和を生み出す	163
防風や火災の延焼を防ぐなど、防災効果を高める	100
重要だと思わない	6

問 23：街路樹の剪定についてどう思うか

**今のままの管理でよい、
もしくは専門家を交えて相談しながら
地域の意向に合わせた剪定方法について考えるのがよい**

「今のままの剪定、管理でよい」、「地域住民と市が専門家を交えて相談しながら、木の特性や地域の意向に合わせた剪定方法を考えるのがよい」と答えた人が多く全体の約 3 割となった。一方で、それぞれの理由で「今の剪定はよくない」と答えた人も 2 割近くとなっている。



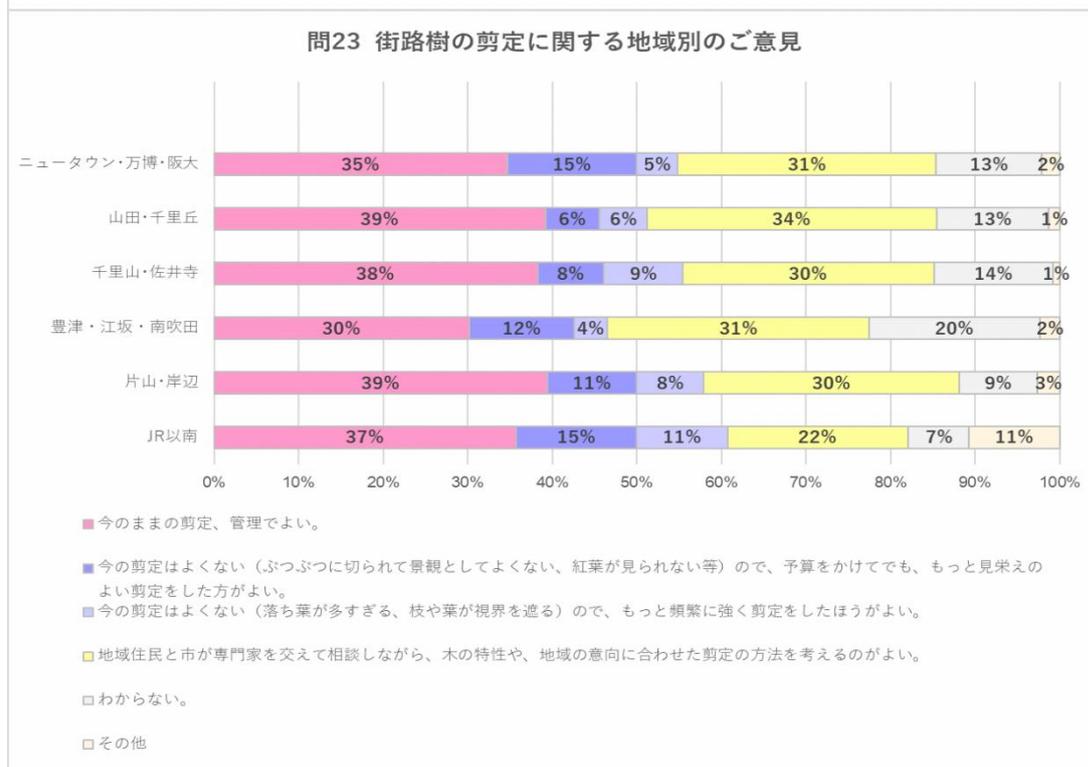
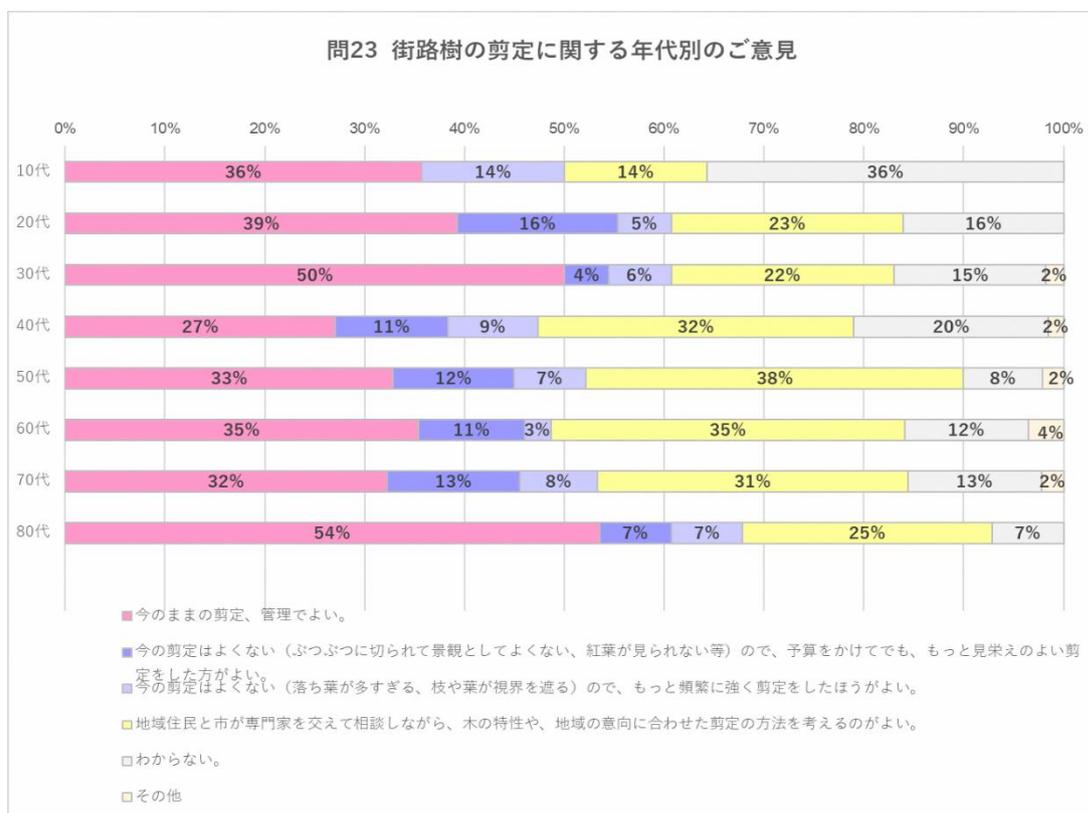
回答者数 707	最もあてはまるもの 1 つを選択
----------	------------------

	回答数
今のままの剪定、管理でよい	255
地域住民と市が専門家を交えて相談しながら、木の特性や、地域の意向に合わせた剪定の方法を考えるのがよい	220
わからない	97
今の剪定はよくない（ぶつぶつに切られて景観としてよくない、紅葉が見られない等）ので、予算をかけてでも、もっと見栄えのよい剪定をした方がよい	75
今の剪定はよくない（落ち葉が多すぎる、枝や葉が視界を遮る）ので、もっと頻繁に強く剪定をしたほうがよい	47
その他	13

【p 40 参考資料あり】

その他の主なご意見として「安全管理のため、妨げになるところは剪定してほしい」、「街路樹を減らし、予算を別のところの使ってほしい」、「老化や病気等の理由以外で街路樹を切ることに反対」といった声が挙げられた。

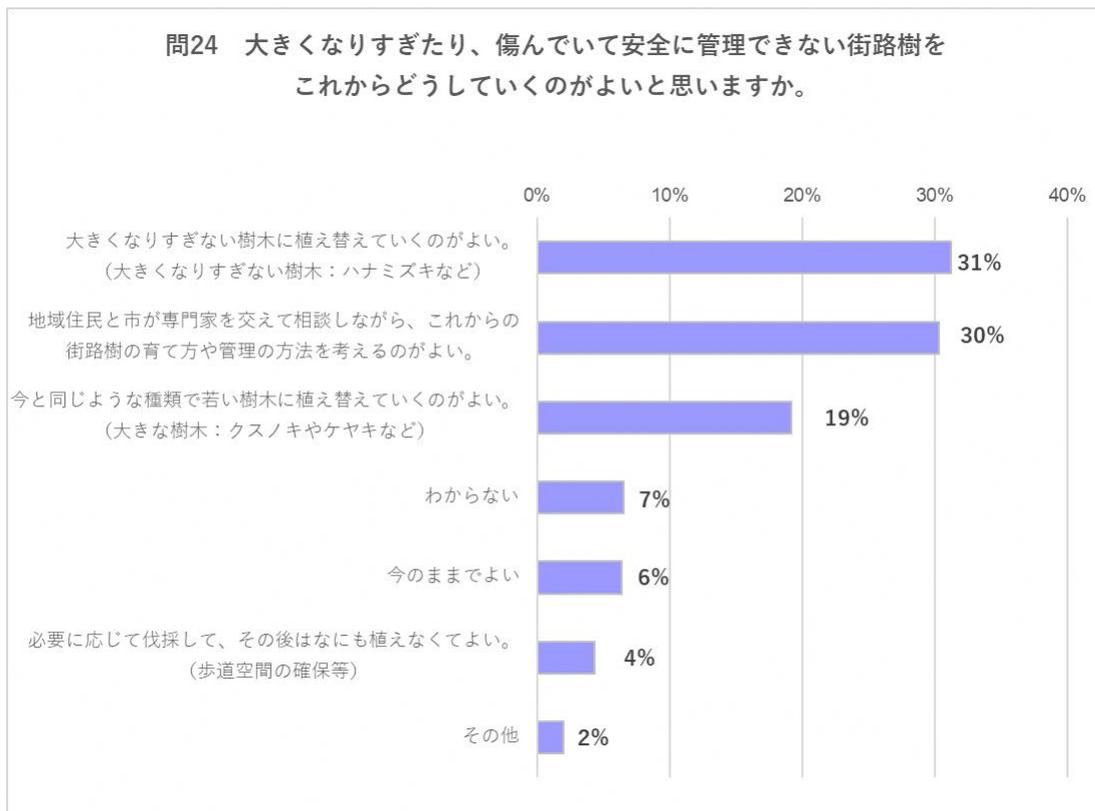
「10～30代」、「70代、80代」は「今のままの剪定、管理でよい」と回答した人が最も多く、「40代、50代」では「地域住民と市が専門家を交えて相談しながら、木の特性や、地域の意向に合わせた剪定の方法を考えるのがよい」、「今のままの剪定、管理でよい」と回答した人の割合が高かった。地域別に見ても、この2つの回答の割合が高くなっており、どの地域においても似た傾向が表れている。



問 24：安全に管理できない街路樹をこれからどうしていくのがよいか

**大きくなりすぎない樹木に植え替える、
もしくは専門家を交えて相談しながら
育て方や管理方法について考えるのがよい**

「大きくなりすぎない樹木に植え替えていくのがよい」・「地域住民と市が専門家を交えて相談しながら、これからの街路樹の育て方や管理の方法を考えるのがよい」と回答した人の割合が多く、約全体の3割となった。安全に管理できない街路樹に関しては「今のままでよい」と回答した人の割合は少なかった。



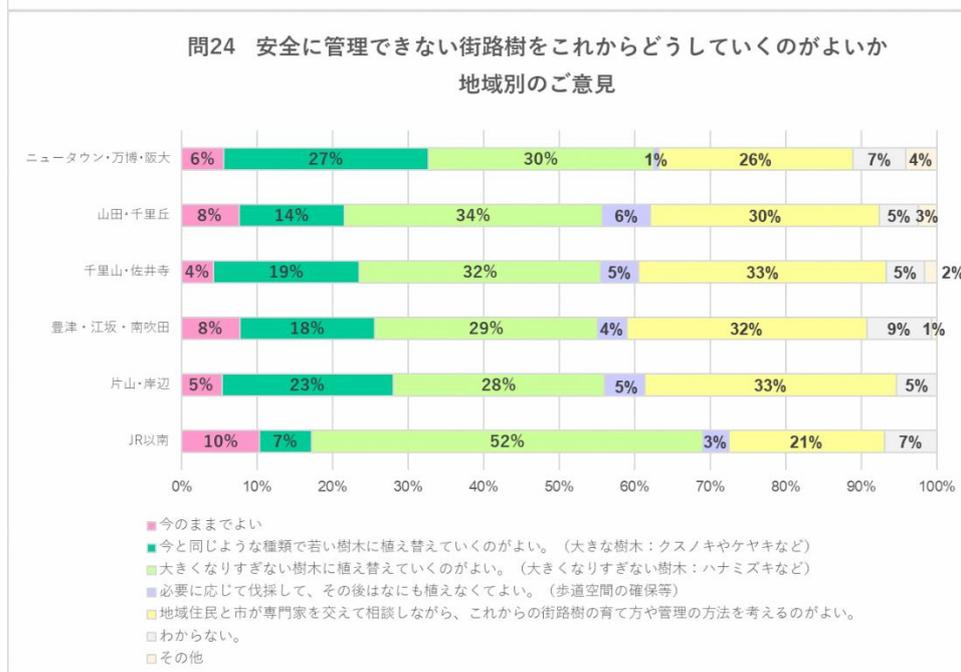
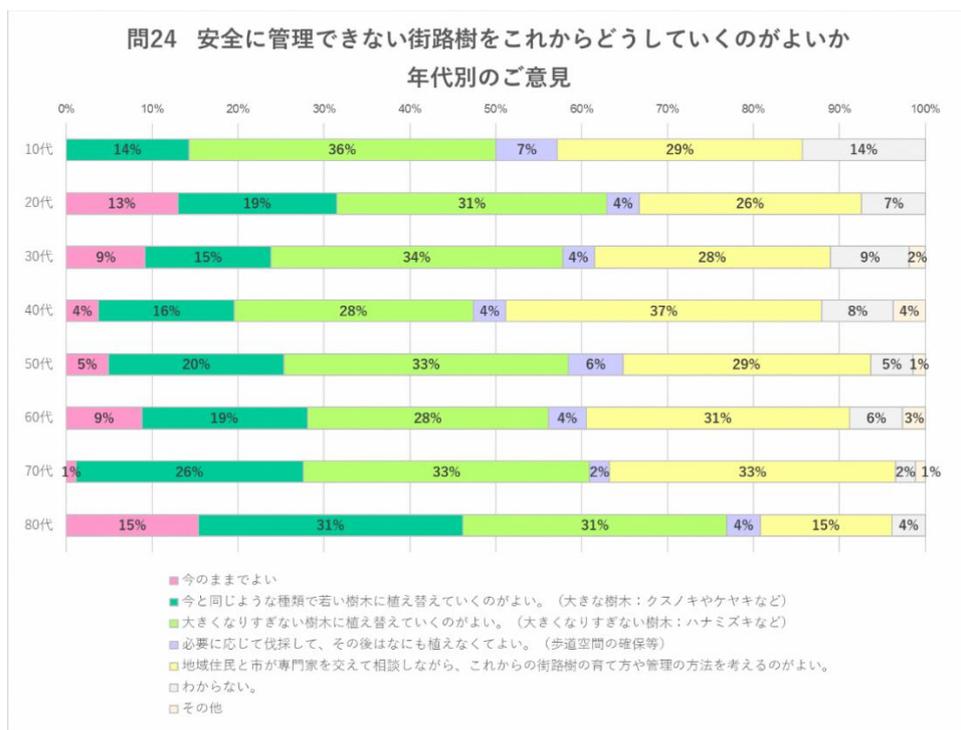
回答者数 692 最もあてはまるもの1つを選択

	回答数
大きくなりすぎない樹木に植え替えていくのがよい。(大きくなりすぎない樹木：ハナミズキなど)	216
地域住民と市が専門家を交えて相談しながら、これからの街路樹の育て方や管理の方法を考えるのがよい。	210
今と同じような種類で若い樹木に植え替えていくのがよい。(大きな樹木：クスノキやケヤキなど)	133
わからない	45
今のままでよい	44
必要に応じて伐採して、その後はなにも植えなくてよい。(歩道空間の確保等)	30
その他	14

【p 40,41 参考資料あり】

その他の主なご意見として「大きな木はそのままよい」、「傷みやすい木、危険と思われる木は街路樹に適したものに植え替える」、「植える場所を考慮すべき」といった声が挙げられた。

「大きくなりすぎたり、傷んでいて安全に管理できない街路樹をこれからどうしていくのがよいか」について、どの年代や地域でも「大きくなりすぎない樹木に植え替えていくのがよい」、「地域住民と市が専門家を交えて相談しながら、これからの街路樹の育て方や管理の方法を考えるのがよい」を選んだ人が多かった。「今と同じような大きな樹種で若い樹木に植え替えていくのがよい」というご意見については「70代、80代」かつ「ニュータウン・万博・阪大」地域に住む人がこの回答を選んだ割合が高かったことから、千里ニュータウンができて60年のなかで、樹木が大きくなり成長して街の風景が出来上がっていく様子を見届けてきた世代や地域ならではの傾向が表れているようにも感じた。



問 25：公園の樹木や街路樹の育て方、みどりのまちづくりについてのご意見（自由記入）

公園の樹木や街路樹の安全な管理と 自然と調和するみどりのまちづくりを

「公園の樹木や街路樹の育て方に、みどりのまちづくりについてご意見」としては、災害や見通しが悪い場所、根上がりしている場所など安心安全のための樹木管理、日常点検をしてほしいという声が多く見受けられた。その他、落ち葉や木の実、草かりに関するご意見や吹田の豊かなみどりや街並みを維持し続けて欲しいというご意見も多かった。

ご意見分類	件数
要望・苦情	145
称賛・現状維持	30
その他・ご意見	36

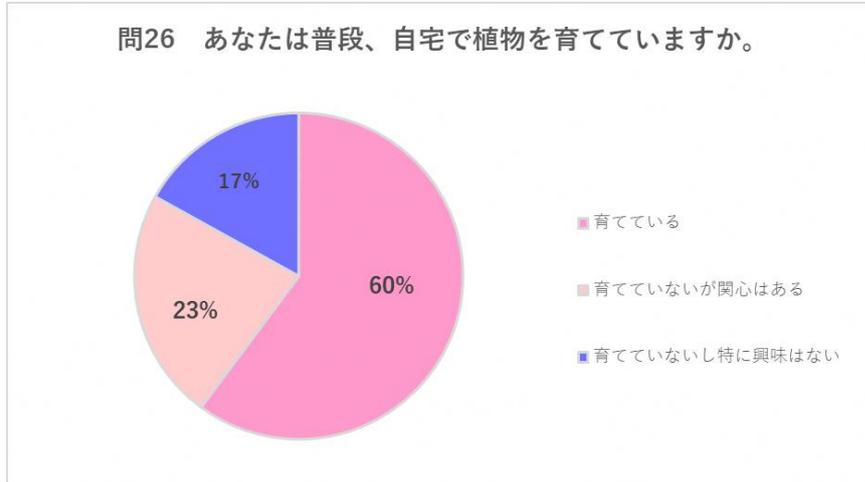
【主なご意見 p 41-50 別添資料あり】

・台風や災害に備えて、普段から安心安全のための管理・点検をしてほしい。
・場所や人通りを加味して樹木の種類や管理方法を変えるなど、自然と安全とのバランスを計って欲しい。
・道路の根上がりが危ない。
・見通しが悪いところの剪定をしてほしい。
・落ち葉が排水溝につまる。
・木の実を何とかしてほしい。すべる、銀杏の匂いが気になる。
・草刈りの頻度を増やしてほしい。
・みどりの維持し続けてほしい。
・樹名札をもっとつけてほしい。
・季節感や生き物の多様性を大事にしてほしい。
・剪定されすぎて残念に思う。（大きな木がある街の風景や古い木を残してほしい。桜が見られず残念）
・予算をかけてきれいにしてほしい。
・予算をかけすぎず管理してほしい。
・管理のしやすい樹木に更新していくのはどうか。
・みどりも多くきれいに管理されていて、吹田に住んでよかったと感じる。

問 26：植物を育てることへの意識

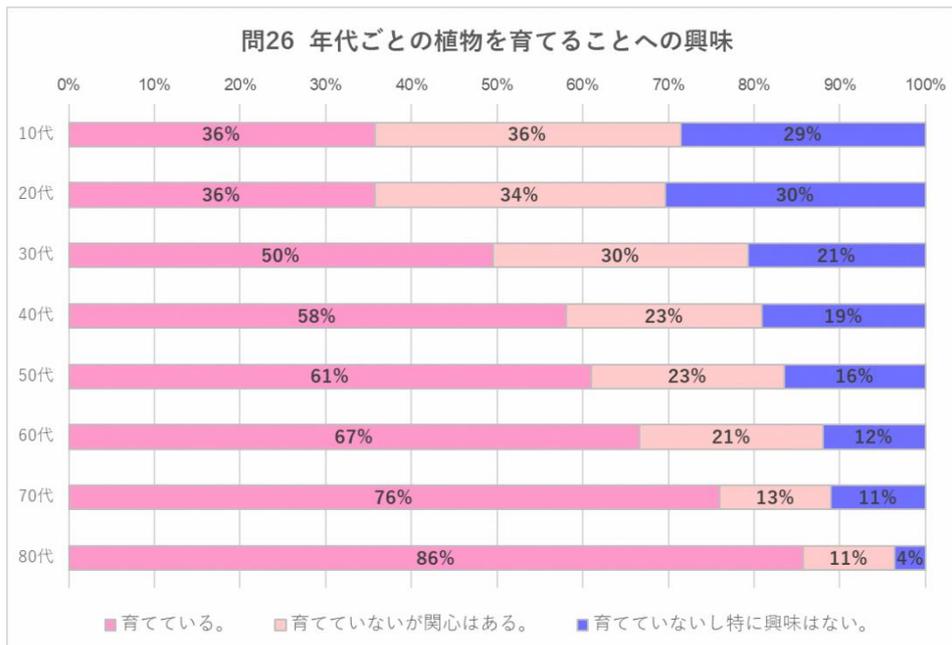
植物を自宅で育てている人は約 6 割

自宅で植物を育てている人は約 6 割。「育てていないが関心はある」と回答する人が約 2 割と合わせて 8 割の人が植物を育てることに関心を持っている。2017 年の傾向とほぼ同様である。



回答者数 710	最もあてはまるもの 1 つを選択
	回答数
育てている	427
育てていないが関心はある	163
育てていないし特に興味はない	120

年代が高くなるにつれ、「植物を育てている」人の割合が高くなっている。

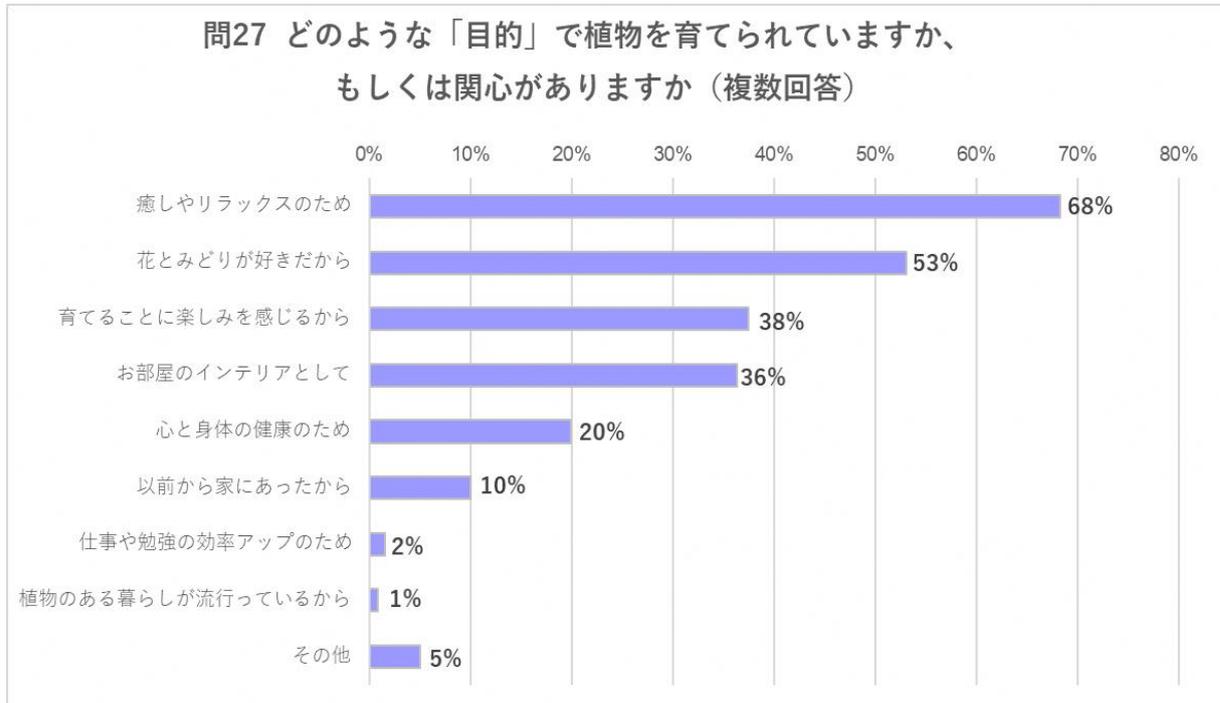


問 27：植物を育てる目的

※問 26 で「育てている」、「育てていないが関心がある」を選んだ人にご回答頂いた。

植物を育てる目的は「癒しやリラックスのため」

「癒しやリラックスのため」と回答した人が全体の7割と最も多く、次いで、「花やみどりが好きだから」が多かった。コロナ禍をとおして、植物から「癒し」や「育てる楽しみ」を感じているというコメントも見受けられた。



回答者数 578	複数回答
----------	------

	回答数
癒しやリラックスのため	395
花とみどりが好きだから	307
育てることに楽しみを感じるから	217
お部屋のインテリアとして	210
心と身体の健康のため	115
以前から家にあったから	58
仕事や勉強の効率アップのため	9
植物のある暮らしが流行っているから	5
その他	29

【その他の主なご意見】

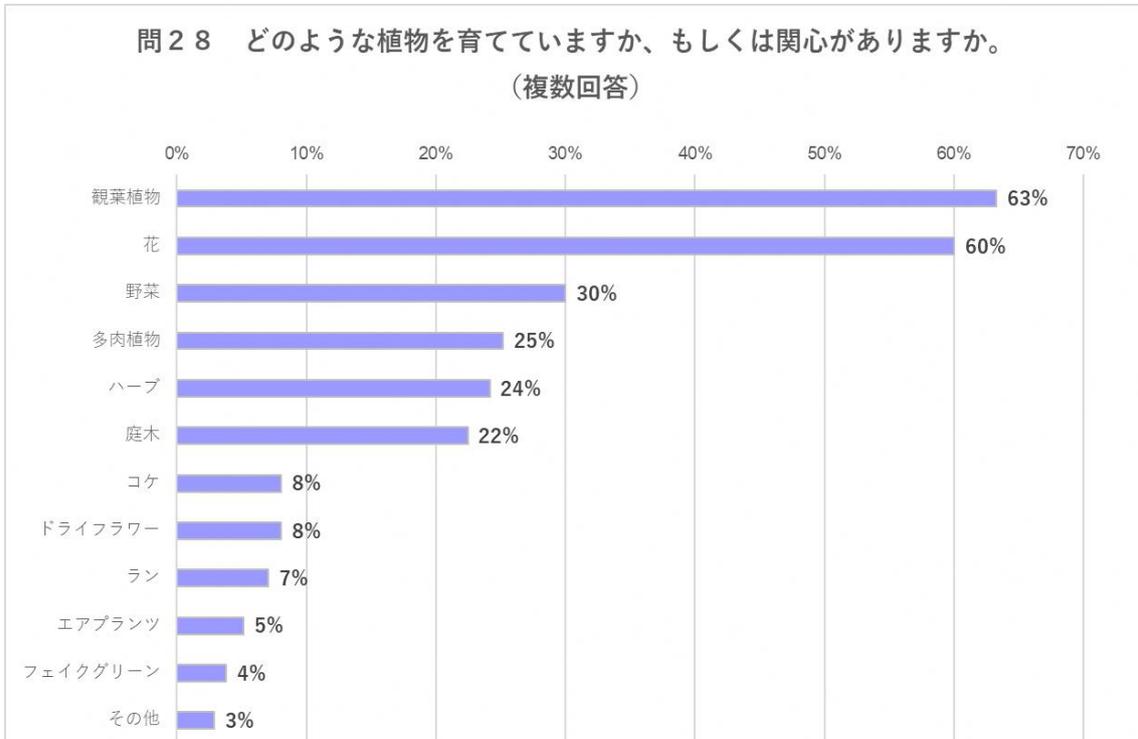
【その他】	
・子どものため（喜ぶから、植物とふれあってほしい）	9
・植物をプレゼントとしてもらったため	6
・収穫して食べるため	4

問 28：どのような植物を育てているか

※問 26 で「育てている」、「育てていないが関心がある」を選んだ人にご回答頂いた。

「観葉植物」や「花」を育てている人が多い

「観葉植物」・「花」と答えた人が全体の 6 割で最も多かった。次いで「野菜」・「多肉植物」・「ハーブ」・「庭木」等を育てている人が約 2～3 割という結果になった。



回答者数 583 複数回答

	回答数
観葉植物	369
花	350
野菜	175
多肉植物	147
ハーブ	141
庭木	131
コケ	47
ドライフラワー	47
ラン	41
エアプランツ	30
フェイクグリーン	22
その他	17

【その他の主なご意見】

【その他】	
果樹	5
盆栽	2
鉢植えの樹木	2
芝生	1
塊根植物	1

問 29：市内の公園やみどりについてのご意見（自由記入）

公園や道路の樹木・草花の維持管理や設備を整え

みどり豊かな街を維持してほしい

市内の公園やみどりについて、多かった意見は以下の表のとおりである。称賛ではみどりが多く環境がよいというご意見が多くみられ、公園や街路の樹木・草花の維持管理や安心・安全を求める声は2017年アンケートの結果と類似している。「Park-PFI（公募設置管理制度）」の新設など2017年に都市公園法の改正の関係もあるのか、公園の柔軟な利活用に関するさまざまなご意見が今回のアンケートで見受けられた。

【主なご意見 p50-61 参考資料あり】

ご意見分類	件数
称賛・現状満足	63
公園の樹木や草花の維持管理等に関するご意見（除草回数を増やす、定期的に行ってほしい。花や木を植えてほしい。丁寧な管理をしてほしい。樹名札の設置）	36
遊具、トイレ、ゴミ箱、ベンチ等の公園施設、設備に関するご意見	30
道路や歩道の樹木・草花の維持管理に関するご意見	23
市内のみどりを維持、増やしてほしい。	17
公園に関する其他のご意見（管理コスト・予算の見直し、公園のリニューアルについて）	16
理想とする、あればよいと思う公園のイメージについて（安心・安全な、ゆっくりくつろげる、スポーツができる、カフェがある等）	13
公園の害虫や鳥害、野良猫に関するご意見	9
ボール遊びのできる場所の整備に関するご意見（遊べる場所の確保、禁止ではないルールづくり）	8
公園の商業化・商業施設不要等	7
公園利用者のマナーに関するご意見	6
イベントに関するご意見（イベントを増やしてほしい、告知をしてほしい）	6
ボランティアに関するご意見（安全に作業してほしい、ボランティアに参加したい、表彰してほしい等）	4
公園の利用ルールに関するご意見（ポイ捨て禁止看板設置、花火について、区画のすみわけ等）	4
家庭園芸に関するご意見（土の回収希望、園芸相談希望）	3
利用されていない、利用しづらい公園の対応を求めるご意見（防犯対策等）	3
其他のご意見（私有地に関するご意見、環境政策について、みどりの助成について）	26

～参考資料～

・アンケート調査票

吹田市の公園とみどりに関するアンケートへのご協力をお願い

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

市民の皆様には、平素より本市公園行政の推進にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、吹田市では、「心がやすらぎ、人と地域と自然を育むみどりの都市 ^{まち}すいた」を基本理念として、豊かなみどりの環境づくりに取り組んでいます。

市民の皆様には公園やみどりについてのお考えをお聞きして、公園管理の質の向上や、みどりを広めるための施策に役立てようと考えています。

平成 29 年度に実施した第 1 回アンケートに続き、今回、第 2 回目のアンケートを実施します。

6月30日(木)までに、同封の返信用封筒（切手不要）にてご返送、または、下記の QR コードを読み取り、Web にてご回答ください。



お忙しい中お手数をおかけしますが、アンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。

令和 4 年（2022 年） 6 月

吹田市 土木部 公園みどり室

アンケートの概要

対象 市内にお住まいの方（無作為抽出）2,000 人

実施・集計 吹田市花とみどりの情報センター

結果 いただいた回答は、吹田市個人情報保護条例に基づき保護するとともに、公園とみどりの施策にのみ利用いたします。また、個別の回答内容がわからないよう集計した形で、市のホームページなどで公表いたします。

問合せ先・返送先

吹田市花とみどりの情報センター

565-0862 吹田市津雲台 1 丁目 2 番 1 号（電話 06-6155-1987）

千里ニュータウンプラザ内

問6 その公園で何をして過ごしますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

- ①休憩 ②散歩 ③自然観察 ④ピクニック・飲食 ⑤スポーツ ⑥遊び
⑦地域行事・イベント ⑧待ち合わせ・通り抜け ⑨その他 ()

公園の維持管理の状況について

問7 普段利用する公園について、それぞれの項目について、最もあてはまるものに○印をつけてください。

項目	評価				
	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
樹木がよく手入れされている	1	2	3	4	5
草刈りがきちんと行われている	1	2	3	4	5
遊具やベンチ、砂場がきちんと 手入れされている	1	2	3	4	5
トイレが清潔で使いやすい	1	2	3	4	5

公園のルールについて

問8 公園を利用しているとき、他の利用者の行為で危険や迷惑と感じたことはありますか。どちらかに○印をつけてください。

①ある ②ない

↳ それはどのような行為ですか。

記入欄

問9 公園の利用について危険な行為や迷惑な行為を規制してほしいという声がある一方で、規制が増えることにより子どもの遊びが制限されることもあります。公園の利用にあたりマナーに頼らず明確なルール（禁止事項）が必要と思いますか。最もあてはまるものに○印をつけてください。

- ①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらとも言えない
④どちらかといえばそう思わない ⑤そう思わない

公園に対するニーズ

問10 あなたのご自宅の周りには、公園や緑地などのみどりが多くあると感じますか。最もあてはまるものに○印をつけてください。

- ①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらとも言えない
④どちらかといえばそう思わない ⑤そう思わない

問 1 1 あなたの自宅の周辺にどのような公園があればよいと思いますか。
あてはまるものを3つまで選び○印をつけてください。

- ①花や緑がたくさんある公園 ②静かで落ち着いた公園 ③様々な遊具がある公園
④ボール遊びができる公園 ⑤見通しが良く安心して過ごせる公園
⑥イベントが開催される公園 ⑦防災機能が充実した公園 ⑧噴水やせせらぎがある公園
⑨スポーツや健康づくりに取り組める公園 ⑩カフェやコンビニがある公園
⑪生き物がいて自然がある公園 ⑫キッチンカーが出店する公園 ⑬仕事や勉強ができる公園

問 1 2 公園があればよいと思うものは何ですか。自由にご記入ください。

記入欄 ※複数の回答も可能です。

緑化のための助成制度について

問 1 3 吹田市では、みどりの協定や生垣緑化などの助成制度がありますが、知っていますか。
最もあてはまるものに○印をつけてください。

項目	回答	利用したことがある	知っている	知らなかったが活用してみたい	知らない 特に興味はない
みどりの協定※ ¹		1	2	3	4
生垣助成※ ²		1	2	3	4

※1 住宅などの道路に接する部分に市から支給するプランターなどを置いて緑化する制度

※2 道路に面して生垣をつくる場合に助成金を出したり、つたの苗や花の種を支給する制度

みどりのボランティア制度について

問 1 4 吹田市では、公園などで花壇の管理や清掃を行うボランティアを支援する制度（緑あふれる未来サポーター事業）がありますが、知っていますか。どちらかに○印をつけてください。

- ①知っている ②知らない

問 1 5 あなたはこのようなボランティア活動に参加したいと思いますか。最もあてはまるものに○印をつけてください。

- ①参加したい ②どちらかといえば参加したい ③興味がない ④わからない

問 1 6 問 1 5で「①参加したい」、「②どちらかといえば参加したい」とお答え頂いた方にお伺いします。公園や緑地などに関してどのようなボランティア活動であれば参加してみたいと思いますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

- ①花壇の花の植付けや水やり ②ごみや落ち葉の清掃 ③草抜きや除草 ④遊具などの安全点検
⑤子どもの見守り ⑥自然観察 ⑦樹木の見守り ⑧その他（ ）

花とみどりの情報センターについて

南千里駅前にある、はなみど「花とみどりの情報センター」では、園芸相談や各種講座、みどりのまちづくりに関する情報発信をしています。

問17 はなみど（花とみどりの情報センター）を知っていますか。
最もあてはまるものに○印を付けてください。

- ①行ったことがある ②知っているが行ったことはない
③知らない



はなみど（花とみどりの情報センター）



問18 はなみど（花とみどりの情報センター）の広報活動についてお答えください。 はなみど PAPER（広報誌）
それぞれの項目について最もあてはまるものに○印を付けてください。

項目	回答	楽しみにしている、 又はフォローしている	読んだこと・ 見たことがある	読んだこと・ 見たことはないけど、 見てみたい	読んだこと・ 見たことはない、 特に関心はない
はなみど PAPER （広報誌、年2回発行）		1	2	3	4
はなみどホームページ		1	2	3	4
公式Instagram（SNS）		1	2	3	4
公式 facebook（SNS）		1	2	3	4
市報すいた（施設の催しコーナー）		1	2	3	4

問19 はなみど（花とみどりの情報センター）での取り組みを知っていますか。
それぞれの項目について最もあてはまるものに○印を付けてください。

項目	回答	利用したこ とがある	知っているが 利用したことはない	知らないが 関心がある	知らない、 特に関心はない
はなみど講習会（園芸やガーデニングなどの講習会）		1	2	3	4
市民講習会（市民が講師になり開催するフラワーアレンジメントなどの講習会）		1	2	3	4
ガーデンセミナー（園芸技術やまちの花壇づくりを学ぶ実践型セミナー）		1	2	3	4
園芸相談（ご家庭の園芸のお悩み相談）		1	2	3	4
公共花壇の相談（地域や学校花壇など公共花壇の技術支援など）		1	2	3	4
出張講習会（自治会や公民館に出張して行う講習会）		1	2	3	4
花と緑のフェア（千里南公園で開催する花やみどりの魅力を伝えるマーケットやアクティビティイベント）		1	2	3	4
土ほかし（ご家庭の園芸用土の回収を公園イベント時に開催）		1	2	3	4
すいたの樹木ガイド（すいたの公園等をフィールドに樹木の魅力をお伝えするガイドツアー）		1	2	3	4



市民講習会



ガーデンセミナー



花と緑のフェア



土ほかし

問20 現在、はなみど（花とみどりの情報センター）では花とみどりに親しむ催しや公園の多様な
つかい方に関するイベントなどを行っています。公園や緑地などでどのようなイベントがあれば
参加したいと思いますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

- ①植物や園芸用品などの販売
- ②ワークショップ（寄せ植え体験、自然素材を使ったクラフト、公園スケッチ会等）
- ③自然を感じるアクティビティ・体験（ハンモック、木登り等）
- ④公園の多様なつかい方について考える勉強会（セミナー）
- ⑤花とみどりに関する取り組み紹介・展示（花とみどり情報、ボランティア活動、市の施策等）
- ⑥市民が企画や運営に関わることができる催し
- ⑦その他（）

花とみどりの情報センターの取り組み「すいた街の木プロジェクト」について

吹田市内の公園や街路の樹木は美しい景観を生みだし、人や生き物にとって気持ちの良い環境を提供しています。その一方で大きく育った樹木は、台風や地震等の災害時には倒木等により、人や建物に大きな被害を及ぼす危険があります。このため、樹木は適正に診断や剪定、根上がり対策などの管理を行う必要があります。

現在、はなみど（花とみどりの情報センター）では、街の木の魅力を知り、みどりへの愛着を育む「すいた街の木プロジェクト」に市民協働で取り組んでいます。

これから公園や街路の樹木をどうやって育てていくのか、50年先を見据えた「持続可能なみどりのまちづくり」について、みなさんのご意見をお聞かせください。

【公園の樹木について】

現在、吹田市の管理する公園には約16万本を超える樹木があります。樹齢が50年を越える樹木も多く、老朽化や再整備の必要性が課題となっています。一定の安全点検はしているものの、限られた予算の中、維持管理を行っている状況です。

問21 公園の樹木をこれからどう管理していくのが良いと思いますか。
最もあてはまる番号に○印を付けてください。

- ①今のままの管理でよい。
- ②今の管理では不十分なので、予算をかけてでも、もっと丁寧に管理した方がよい。
- ③管理のしやすい樹種に計画的に植え替えた方がよい。
- ④必要に応じて伐採することで、管理本数を減らし、植栽管理や他事業を今より充実させたほうがよい。
- ⑤地域住民と市が専門家を交えて相談しながら、公園ごとに樹木の管理方法について考えるのがよい。
- ⑥わからない。
- ⑦その他

[



傷みやすい樹木



大きくなる樹木

【街路樹について】

問24 大きくなりすぎたり、傷んでいて安全に管理できない街路樹をこれからどうしていくのがよいと思いますか。最もあてはまる番号に○印を付けてください。

- ①今のままでよい。
- ②今と同じような種類で若い樹木に植え替えていくのがよい。(大きな樹木：クスノキやケヤキなど)
- ③大きくなりすぎない樹木に植え替えていくのがよい。(大きくなりすぎない樹木：ハナミズキなど)
- ④必要に応じて伐採して、その後はなにも植えなくてよい。(歩道空間の確保等)
- ⑤地域住民と市が専門家を交えて相談しながら、これからの街路樹の育て方や管理の方法を考えるのがよい。
- ⑥わからない。
- ⑦その他 ()



傷みやすい樹木



大きくなる樹木

問25 「公園の樹木」や「街路樹」の育て方、みどりのまちづくりについて、ご意見があればご自由にご記入ください。

記入欄

